

「区民の声」の概要

(令和6年度 広聴事業)

令和8年1月
墨田区企画経営室広報広聴担当

《趣旨》

この概要は、令和6年度に区民の方々から寄せられた意見、提案等の一部を、行政課題に沿って一定のキーワードで整理、分類したものです。

なお、プライバシーに関するものや、個人を特定できるもの等については、一定の配慮の上、掲載しています。

本書でいう「区民の意見、提案等」とは、広報広聴担当が所管する広聴活動として処理した次のものをいいます。

- ・ 広聴カードにより処理した意見、提案等（広聴はがき、封書、電話、メール、来訪、ファクシミリ等による通報）
- ・ 各種団体などからの請願・陳情等
- ・ 令和6年度に実施した「第28回住民意識調査」に寄せられた自由意見・提案等

本書では、寄せられた意見等を次のように表記しています。

《例》 防災の非常持ち出し品を区民に配布してほしい。（手 3 3）

1 2 3

1：意見、提案等の要旨

2：その意見等が寄せられた広聴事業

手・・・広聴カード 陳・・・請願・陳情

住・・・住民意識調査

3：受付番号（手・陳のみ）

目 次

「すみだ」らしさの息づくまちをつくる	1
1 文化観光	1
地域で快適に暮らせる「すみだ」をつくる	
2 まちづくり	2
(1) 都市計画	
(2) 建築行政、住宅	
(3) 区内循環バス、その他交通機関	
3 土木	4
(1) 道路	
(2) 公園	
(3) 河川	
(4) 自転車	
新しい事業が起き、人が集まる「すみだ」をつくる	
4 産業経済	8
安心して暮らせる「すみだ」をつくる	
5 危機管理	9
(1) 防災	
(2) 防犯	
6 福祉	12
(1) 福祉全般	
(2) 子育て支援	
(3) 心身障害者福祉	
(4) 高齢者福祉・介護福祉	
7 保健衛生	16
(1) 対人保健活動	
(2) 動物の愛護と管理	
(3) 民泊、旅館業	
8 環境	19
(1) 公害・環境問題	
(2) 清掃・リサイクル	
(3) 噸煙マナー	
9 教育	22
区民と区が協働で「すみだ」をつくる	
10 スポーツ振興・生涯学習	23

1 1	区政推進	24
	(1) 広報広聴	
	(2) 行財政改革	
	(3) 人権同和・男女共同参画	
1 2	身近な区民サービス	26
	そ の 他	
1 3	職員の接遇等	27
1 4	区民施設	28
1 5	その他	30

[資料編]

1	区民の声の傾向	33
	(1) 広聴活動別件数	
	(2) ご意見（広聴カードA）の内容の大分類別件数	
2	広聴活動の概要	34
	(1) 区長への手紙	
	(2) 請願・陳情	
	(3) 中学生区議会	
	(4) 住民意識調査	
	(5) 区民相談	
	(6) ホームページ	

「すみだ」らしさの息づくまちをつくる

1 文化観光

健康推進に良いので、山梨ワインカーニバルのようなイベントを開催して、墨田区の人たちにも日本のワインを知ってもらいたい。(手10)

隅田川花火大会で、地面にチョークで囲ったり、シートやテープ等で場所取りをしている人がいた。消すなり、道に場所取り禁止等の注意書きをしておいてほしい。(手29)

隅田川花火大会で、禁止されている会場周辺の道路上で営業している店があった。(手46)

隅田川花火大会について、猛暑が過酷になり、天候が読みにくくなってきた昨今、夏の開催が区民のためになっているのか。涼しくなる8月末や9月に開催してはどうか。(手47)

すみだ親善大使の服装が三者三様のバラバラで、良さが感じられない。(手65)

両国から北斎美術館に向かう間に北斎を感じさせるものが少ないので、北斎を活用したシティプロモーションを推進するため、絵画のレプリカなどモチーフを設置してほしい。(陳10)

両国船着場、小梅橋船着場を有効活用し、観光船の利用を活発化してほしい。(陳10)

新日フィルと芸者さんのコラボがとてもすばらしかった。パイプオルガンの裏舞台ツアーも、とても感謝している。(住)

「江戸切子」は世界に誇れる伝統工芸であり、どんどん推進してほしい(個人的には、もっと体験の場が多いとうれしい)。(住)

佐渡裕さん、王貞治さんに親しみを持てる企画をしてほしい。老人はなかなか区の南部まで行けないので、区の北部でしてほしい。(住)

ハワイアンフェス、肉フェス、JAZZフェスなど、楽しめるイベント大歓迎だ。(住)

音楽都市構想を応援している。今年5,000人の第九に初めて参加したが、とても楽しめた。(住)

区民には、墨田区の博物館やスカイツリー等の割引などがあるとありがたい。(住)

もっと区内のイベントが載っているチラシ等を配ってほしい。(住)

下町のよさ、銭湯や町工場、個人の店をイベント等でさらに活性化できたらよい。SNSやアプリ、行政だけでなく民間の力を借りてもよい。墨田区はもっとできることがあると思う。(住)
スカイツリーに全国や海外からも人が集まつくるので、人を飽きさせないように、また足を運んでくれる場所であるようにしてほしい。(住)

墨田区は繁華街や観光地、花街というように多岐な側面を有するため、基本的に民間・地域の人が中心に文化・街並みの醸成を行い、区はその人たちへのバックアップをしてほしい。(住)
もっと相撲を前面に押し出し、観光イベント等に活用したらよいと思う。相撲部屋も次々に区外に移転してしまっているので、区内にいてもらう工夫も必要だ。(住)

日本相撲協会との提携に具体的な成果があるのか。国技館があり相撲部屋も多数ありながら、区民と相撲のつながりが強いとは到底思えない。観光、産業、文化の視点から相撲という資源を有効に使えないのか。幼児から高校生までを対象にした地域の相撲倶楽部があつてもよいのでは。行政主導でできることではないとは思うが、やりようでは。例えば、区内の相撲部屋に助成や税の減免等のもと、相撲関係者に地域での活動を求めることがないものか。(住)
キャラクターとのタイアップは、お金がかかるかもしれないが、手軽に人を呼べる手段だと思うので、積極的に取り入れてほしい。直近だとすみっコぐらしのスタンプラリーは、区内を巡

回しながら楽しめるイベントでとてもよかったです。スカイツリーを中心に上記のようなイベントを合わせ、国内外からの観光客を取り入れたり、区民を優先したタイアップ（イベントや防犯グッズ販売など）も継続実施していけば、移住者も増えるのではないか。（住）

隅田川花火大会はやめてほしい。あれほど景観を損なう行事はない。夜空を一時的に美化している間にも、地上は乱痴気騒ぎで見ていられたものではない。（住）

観光客の増加により風紀が大きく乱れていると思う。歩きタバコ、ペットボトルゴミの放置、路上喫煙がとにかく増え、不快で、危険だ。見回りや声掛けをしてほしい。（住）

観光客の増加は経済的によいのかもしれないが、民泊が増えてゴミが散らかっている。花火大会後のゴミなども汚い。高齢者が多いかもしれないが、若い人へのメリットが特にならない。（住）

観光客へ生活ルールの周知、団体歩行、自転車二人乗しないようにする。深夜に騒がない。（住）他の地域で観光客が増えて困っていると、テレビ等でよく見る。交通機関に地元の住民が乗れなかったり、外国の方のマナーが悪かったり、ゴミのポイ捨てで町が汚くなったりで、収入は関連するところに入ってくるだけで、あまりよいことはないと思う。（住）

スーパー等の区民生活の場にも観光客が押し寄せ、心地よく買い物ができない。観光客のモラルの問題もあり、最近では観光客がいると嫌だなと思うことが増えている。例えば、災害時に、観光客も一緒に避難するのかと思うと、対策は出来ているのか不安になる。その対策もしっかりとして欲しい。駅前周辺や駅などの混雑は、道の拡張や観光ボランティア等の配置など、区民にも観光客にも、お互いが気持ちよく過ごせるような環境を作ってほしい。（住）

観光客が増えているが、他区ほど多言語ガイドの人などを見かけない印象だ。ボランティアが正解だとは思わないが、学生などにも募集をかけてみても面白いのではないかと思う。（住）観光地として、海外から来た人にわかりやすいように、外国語対応の案内所を押上駅に作る。また押上から浅草に向かう通りに施設やお店を増やし、賑やかにして経済効果を増やす。（住）錦糸公園のライブは、できればプロ中心が嬉しい。素人カラオケ大会みたいなのは聞いていて厳しい。（住）

すみだ北斎美術館への外国人観光客流入を促すような積極的施策を打ち出す必要がある。せっかくのコンテンツが生かされていない。（住）

外国人向け宿泊施設が多いが、迷っている人を見るので英語案内を増やす等があればよい。（住）

地域で快適に暮らせる「すみだ」をつくる

2 まちづくり

（1）都市計画

吾妻橋地区について、食料品店の充実、街灯の整備、街路樹の充実、エリアのブランディングを図ってほしい。（手170）

押上駅北口の再整備について、周辺は圧倒的に緑が少ないので、街路樹を充実させ、駅前ロータリー中心に緑地を設けるなど、緑化計画を充実させてほしい。（陳16）

便利な地域と不便な地域の差が大きい。買い物難民がいてはならない。（住）

主要駅周辺は住みやすく、様々な整備がされていると実感するが、ハ広駅周辺は十数年前から

ほとんど変わらず、税金が自分の暮らしに反映されている実感がない。歩道が狭い、街灯が少ない、店が少ない、八広駅周辺も住みやすくしてほしい。(住)

京成八広駅周辺にスーパーがなく、とても不便に感じる。住みにくい。(住)

自分が暮らすエリアは整備が進んでいるのを感じるが、一本裏道に入ると、車両ストレスの狭い道、傾きかけた木造家屋も見受けられる。災害時を考えると心配なので、街の整備に注力してもらえると嬉しい。墨田区は、新興のエリアと下町らしさが共存しているところが大きな魅力、それが安全な形で守られていくとよいと思う。(住)

北部は人の住みやすいやさしい街に、南部は都会的な活気のある街にしてほしい。(住)

単身者用ワンルームを中心としたマンション建設が増えすぎているように感じる。一階部分に店舗を誘致するなど、地域が活性化するような整備をお願いしたい。北斎通りは電柱地中化も済み、広くてきれいな通りなのに店舗が少なくマンションが多い。生活道路と化して勿体ないと感じる。店舗誘致やイベント等をもっと行い、区を代表する道になればよいと思う。(住) 人との触れ合い、人情味のある街と思っている。この街に住むのが好きだ。最近は住宅過密化の印象がある。例えば公共の温浴施設等、今より住み心地のよくなるような公共施設の計画を考えてほしい。街づくりに関しても民間に任せるとではなく、景観、雰囲気を重視しながら、デザイン性のある街づくりを目指してほしい。(住)

両国駅周辺に、ショッピングモールや公園、ファミリー世代向けの施設ができると嬉しい。(住) 区の人口を増やすことが将来のための財源獲得に重要だと考える。住みやすさや街並みのオシャレさ、墨田区ならではのお店などをアピールできるよう、主要駅周辺の危険な道路(曳舟駅付近のうねった道路等)を排除するなど、安全性や利便性を高める再開発を推し進めつつ、小さな良いお店にスポットライトが当たるようにすることで、認知度が高まるように思う。(住) 空き家を上手にリノベーションし、イメージアップした清澄白河や蔵前のように街並みに統一感を持たせ、趣のある建物のレストランやカフェなど、来てみたいと思わせる店舗が集中するような、地域を絞った計画をしてほしい。(住)

(2) 建築行政・住宅

外国人が都営や区営住宅に入居しているのを見かけるが、行政が運営する住宅に外国人が入居していることに疑問を抱いている。(手80)

70代、病気の子どもがあり、家賃滞納のため強制退去させられた上、都営住宅にも当たらない。安い都営住宅に住まわせてほしい。(手88)

若者に対して、物価、家賃などが高すぎるので、なんとかしてもらえるとありがたい。(住) 墨田区は、おちつく、住みやすい下町だと思う。ただ、家賃相場が上がってき、1人世帯が入れる都営住宅が墨田区には少なすぎるので、ゆくゆくは区外に出るしかない。(住)

外国人で、墨田に長く住んでいる。借りたマンションの場合、毎月の前払いや保証金がなければ、建物の所有者は損傷を修理したり交換したりしない、契約書に書かれたルールに従うだけ。古い部屋であっても、賃貸料は非常に高額。(住)

「日本人」が住宅購入しやすい施策をとってほしい。(住)

古い中古物件、都営住宅を含めて解体、新設工事(建替え工事)をしてほしい。(住)

人が生まれて健やかに育つ墨田区になることを期待している。最近、ワンルームマンションが

多く供給され、単身者が住むことはよいが、結婚し、子をもうけて家族が墨田区で暮らせる住宅の供給がないと、冒頭の期待は実現しない。少子化対策は給付金等のお金に焦点が当てられているが、人が生きる、暮らすライフサイクルを踏まえ、総合的な施策の検討立案が求められている。墨田モデルとでも言えるような住民定着と福利政策を期待している。(住)

青空と夕焼けがきれいな区は貴重だと思うので、タワマン等の高層ビルの開発制限をしてほしい。他区と同じようにする必要はないし、交通の便はよいのだから、人間らしく生活できれば、人は集まると思う。(住)

マンションなどを購入してずっと墨田区に住み続けたいと思っているが、昨今の不動産価格の上昇で手が出ない。例えば、家族4人で暮らす家を探しても80m²超の物件がなかなかない。上記の理由により区外へ転出せざるを得なく、残念。(住)

(3) 区内循環バス、その他交通機関

巡回バス南部ルートについて、土日はスカイツリーを通るのをやめた方がよいのではないか。3時間遅れの日もあり、実用性がない。(手35)

鐘ヶ淵駅の踏切を利用するが、電車の本数が多く踏切の開閉が激しい。立体化工事の話も進んでいる様子が感じられない。事故のリスクもあるため、早く立体化を進めてほしい。(手90)

亀沢と墨田区役所前から先、押上方面と浅草方面にモノレールを作ってほしい。(手132)

両国錦糸町ルートのバスを利用するが、混雑し不快な思いをすることが多い。台東区は乗客数が多いルートは大型バスを使用している。大型バス導入を検討してほしい。(手149)

図書館や区内巡回バスをよく利用している。充実したサービスで心地よい。巡回バスに相互ルートがあると、より利用しやすくなる。(住、同様の意見1件)

区内循環バスに、南部ルートの逆走コースもほしい。(住)

循環バスのルートを増やしてもらいたい。(住)

すみまる君も乗り換えが必要で、特に高齢者には困難。両国方面は利用度が低いと感じる。(住)

向島から錦糸町に行くバス、向島から曳舟方面に向かうバスを増やしてほしい。(住)

小村井駅の2番線側にも改札をつくってもらえると、とてもうれしい。(住)

本所地区、立川は、公的な施設も遠くなり、意外と交通の便が悪くなっている。(住)

押上駅を利用する旅行者に、わかりやすい案内板やインフォメーションがあるとよい。スーツケースを持ってうろうろする人たちを毎日見かける。聞かれることも多々あり、親切な駅ではないと感じる。旅行者を多く迎える押上駅、「国際観光都市すみだ」らしくお願いしたい。(住)

押上駅ホームは狭いのに、スーツケースを抱えた観光客でごった返し、ホームから改札に出るまで非常に時間がかかり、ホームから転落しそうで危険を感じる。(住)

向島2~3丁目地域に駅を増設してほしい(押上駅が遠い)。(住)

京成曳舟駅前のロータリーがとてもさみしいので、もっと活用してほしい。(住)

3 土木

(1) 道路

毎週土日になると押上駅前交番東の交差点は渋滞が発生し、押上駅前に進入できない状況にな

る。東京スカイツリー東の信号と共に、歩車分離式信号に変更するだけでも渋滞は緩和できると思う。早急に対策をお願いしたい。(手57、手58)

休日の押上駅前交番東交差点の交通渋滞について、公共交通である都バス、区内巡回バスの運行遅延等大きな影響を与えている状況であり、都市計画や公共交通、ツーリズム、日常生活の観点からも対策が必要かと思われる。(手139)

向島見番通りは、墨田区の中でも昔の趣が残る魅力のある通りなので、その魅力をより高めるため、地域にあった風情のある街灯の設置と電線の地下化を進めてはどうか。(手159)

松本橋が撤去候補となっているようだが、歴史を残すものとして保存してほしい。(手176)

道路に面した危険ブロック塀の撤去助成制度の復活と対象拡大を要望する。(陳4)

錦糸町周辺の繁華街の違法な路上駐車は、防犯上もトラブルになりかねないため警察と連携し、日中巡回の指導員の一部を夜間に回す等、駐車禁止の夜間取締りを強化してほしい。(陳10)

7年度の道路占用料改定について、電柱広告の減免継続及び追加負担がないことを要望する。(陳17)

狭い道路にある電柱をなくしてほしい(東京都に強く要請してほしい)(住、同様の意見1件)

北斎通りは無電柱化されているが、南北の通りは無電柱化が進んでいない。区役所通りもできていない。防災や景観のためにも、無電柱化をもっと進めるべきではないか。(住)

道路工事はよく目にするが、歩道の整備があまりされていない。車椅子の人には、通りづらい道が多い。歩道に植えてある木は古い木が多いので、危険だと思う。(住)

高齢者が多いので、安心して歩行できる道路を整備してほしい。(住)

北十間川や隅田川沿い、丸八通り、水戸街道に自転車専用レーンがほしい。特に川沿いを走りやすくすれば、信号がなくスムーズに移動できるようになるので、ぜひ実現してほしい。(住)

水戸街道の歩道を広げて欲しい。(住)

人口の割に歩道が狭いと感じる。難しいとは思うが、歩道を広げてもらいたい。(住)

墨田区は歩道が狭く、しかも車道には路駐の車があるのでとても危険である。路駐の車の取り締まり、もしくは広い歩道の確保をお願いしたい。(住)

歩道が狭い所が多く、すれ違いにくいのが難点。(住)

道路が狭い場所があるので改善してほしい。特に地蔵坂あたりは交通量が多く道路が狭いので、車にぶつかりそうになってしまう。交通量を分散させるか、道路を広くしてほしい。(住)

街路樹がもっと多くあれば夏場の日除けにもなる上、豊かな緑の町になりそうだ。(住)

道路の拡張整備を行っているが、中々進めていない理由が不明。(住)

自宅周辺、横十間川の工事を行っているが、川沿いに通路は出来るのか。(住)

自転車専用道のある道路があるが、歩道を自転車禁止にしないと意味がない。車やバイクにとつては道が狭くなった分、追い越しや追い抜きの時にヒヤリとする時が増え、困っている。つまり、ほとんど使われていないレーンがあるために、以前より危険になっている。(住)

錦糸町駅周辺の歩道が、通行人に対して狭いので自転車道を整備してほしい。(住)

自転車が道路を走らなければならないなら、自動車、自転車双方が安心して走れるように道路の整備をしてほしい。(住)

ガス工事の後の凸凹が酷すぎるので、歩きやすいように舗装してほしい。見た目も酷い。(住)

錦糸町駅周辺の公園、商業施設が充実してとても喜ばしいが、ガードレールが老朽化している

のが残念だ。修繕して綺麗になる（ステンレスなので磨けば輝く）とよいと思う。（住）近所の歩道にかなり大きいごみ箱の様な物が置かれ、自転車や歩行者と重なった時など邪魔に思っている。自転車はすぐ撤去されるのに、一年以上も私有地の様に使用してよいのか。（住）近所に外国人客を目的としたゴーカートで街を巡るサービスを行う業者がある。近年、そのために治安が非常に悪化している。車の出す騒音、排気ガス、更には、飲食物を置き捨てする。住民は困惑しているが、業者はその事実を認めようとしない。いずれは大事になる。（住）賛育会前の交差点に白線の面積を増やしたようだが、車とのクリアランスのためなのに自転車も歩行者もギリギリまで来てしまい、余計に巻き込みそうで怖い。（住）観光客が使用するような道路整備だけが目立ち、住宅街など出勤で普段使う道が未だボコボコ、ガタガタで歩きづらく不便に感じる。そういう道路整備にも目を向けてほしい。（住）車、歩行者の交通量と信号の間隔が合ってない。地域の要望を聞いて改善してはどうか。押上駅の設計ミスや工事ミスがそのまま利用者に無理を強いている。調査すべき。（住）タワービュー通りの街灯が壊れすぎている。景観としては良いのだが、実用的では無いように思う。壊れない街灯にしてほしい。（住）道が凸凹だったり、歩道に段差や傾斜がある所が多い。ベビーカーやお年寄りには不便と思う。また、公道に自転車を置く家も多く、歩行の障害になっているので、何とかしてほしい。（住）観光誘致について、墨田区は道が狭く、錦糸町駅周辺はスーツケースをひいた観光客で歩道が混雑していたりする。（住）

（2）公園

大横川親水公園の釣り堀で利用者が捨てていった釣り針や釣り糸が原因で、ハトなどの鳥が傷ついている。原因が解決されるまで釣り堀を閉鎖するべきではないか。（手2）年々暑くなる夏の間、公園にミストシャワーを設置するなど、夏季に外遊びができるような工夫を検討してほしい。（手56）外国では、公園に不要な本を置く本棚があり、自由に貸し借りができるとテレビで見た。墨田区でも、公園や駅への設置を検討してみてはどうか。（手102）錦糸公園での大道芸等による騒音が気になるので対策してほしい。（手155）ボール遊びの禁止だけではなく、子どもが自由に遊ぶことも規制されている公園があるので、広く開かれた公園にしてほしい。（手164）区が管理する公衆・公園のトイレの改修事業について、具体的な進捗を明らかにするとともに、高齢者や障害者が利用しやすいよう、手すり等を設置したバリアフリートイレへ改修し、更には多様性にも配慮した設計を検討すること。（陳3）錦糸公園は整備が行き届いている。区民の住環境向上の観点から、他の区立公園も整備を進めてほしい。（陳10）大横川親水公園に設置している自動販売機を撤去するとともに、今後、亀沢地区の区立公園に自動販売機を設置しないでほしい。（陳11）台東区に比べ、墨田区の公園は手入れが悪い。公衆トイレは悪臭がし、衛生、防犯面も芳しくない。隅田公園の草刈やゴミの回収頻度も少なく、犬のウンも見られる。草木が街灯を隠すため、道路が暗い。川側の土手を自転車やループで走行する観光客や区民が増加しており、歩行

者が危険を感じるので、自転車などが入れないよう、土手に出るポールを工夫してほしい。(住)
錦糸公園の美化（ゴミ箱の増設、テントで1日中場所とりの禁止）をお願いしたい。(住)
鉄棒を公園に設置してほしい。(住、同様の意見1件)
ドッグパークのQRコードが読み取りづらい。(住)
はじめてのお試しドッグランが出来たが、幾つか出来ると助かる。公園は、元気なゲートボール会場となり、散歩が出来ない事がある。(住)
ドックランを作ってほしい。(住)
江東区のように、犬と人間が豊かに過ごせる大型公園や施設があると嬉しく思う（普段は、猿江公園を利用することが多い）。(住)
親水公園のドッグランは、高速道路高架下等に移動してほしい。子どもが遊べる平坦な広場がなさすぎる。サッカーやドッヂボールくらいは出来るよう、フェンスも高くしてほしい。大きな公園は災害時に防災拠点になるよう、臨時トイレや飲料水の確保を準備してほしい。(住)
公園内の自販機(ペットボトル)がゴミ箱からあふれている。回収回数を増やしてほしい。(住)
年寄りが多いので、公園に健康器具を配置するなどして、医療費削減につながる場の提供をしてほしい。(住)
公園が狭く、ボール遊びが出来ない（禁止している）公園が多い。(住)
子ども達が自由に公園でボールを蹴ったりする場所を増やしてほしい。サッカーの練習も野球の練習も、できる場所が少ない。(住)
中川公園に「ボール運動禁止」の看板があるが、一律に禁止すべきではない。しかし、この表示のままでは、親子がやわらかいボール（ビニール製など当たっても痛くない）を使ってのキヤッチボールもダメとなってしまう。ボールの投捕やすばやく身をかわす（ドッジ）能力は、幼児の頃から是非身につけたい能力である。表示の再検討を要求する。(住)
公園の管理など、割としっかり取り組んでいる印象。(住)
公園（中川）の樹木の剪定、遊具の安全管理、トイレの清掃などよくやられているので、これからも継続してほしい。(住)
公衆トイレの美化。(住)
親水公園法思寺橋横（蔵前橋通り）・錦糸公園・横網町公園に公衆便所を新設してほしい。(住)
公園を増やしてほしい。ベンチを多く設置してほしい。(住)
インラインスケート、スケートボードが遊べる場所がほしい。(住)
隅田公園をもっと賑やかにしてほしい。(住)
隅田川沿いや公園などに、ホームレスが住み着いている。税金も払わず区有地を使っているのはどうかと思う。防犯的にも不安になるため、撤退してほしい。(住)
区内にある公園の遊具も所々（小規模の公園は特に）老朽化していて、小さい子どもを遊ばせるには危険に感じる時があるので、定期的に安全確認やメンテナンスを行ってほしい。(住)
最近、区内・都内の公園等の整備が進んでいるのをよく見かけるので、良い取組だと思う。(住)

（3）河川
すみだの土手近くに住んでいる。春は河津桜、ソメイヨシノと自然に恵まれているが、土手の草が伸び放題で、雨の翌日など歩きにくい。なるべく早めに草を刈ってほしい。(住)

北十間川（源森橋と小梅橋の間）の水が汚いことが多く、残念に思っている。特に夏になると魚の死骸などが浮いていることもあり、清掃にもう少し力を入れてもらえた嬉しく思う。東京ミズマチ®ができるから、観光客・外国人の人たちもたくさん通る場所でもあり、周辺に飲食店もあるので、街並だけでなく川もきれいに保たれると気持ちがよいと思う。（住）

東京ミズマチ®はロケーションの点、コンセプトなど素晴らしいと思うが、あまりに水質の悪さ（臭い）が目立ってしまっている。何か抜本改善、見通しが必要ではないか。（住）

（4）自転車

区が管理している駐輪施設で、他者による不正利用、機器の不具合などで、実際の利用時間を越えた金額を支払わされたので返金してほしい。（手30）

錦糸町駅北口駐輪場は、9時半には当日利用の平置き区画が満車となり、壁際や通路など本来の駐輪スペースでない場所に止めることとなる。一方で、1日を通じて月額利用のスペースが何区画も空車の状態であるため、スペースを見直してほしい。（手38）

自転車のマナーが悪いため、取り締まってほしい。（手136）

駐輪場に申し込んだが落選してしまったが、支障があるので、配慮してほしい。（手174）

自転車ヘルメット購入助成金の増額を検討してほしい。（陳6）

自転車置場の充実。（住）

押上駅の駐輪場を利用しているが、4月から当日利用が2階にされ、1階よりも狭い2階の駐輪場が大変混雑し、毎回、空いている場所を探すのが大変だ。以前のような形に戻してもらいたい。また、この機会に、当日利用者にアンケートを取るなどしてほしい。（住）

押上駅の駐輪場を拡大してほしい（平日全然足りない）。（住）

自転車走行者の9割以上は交通法規を守っていない。取り締まりが必要。（住）

新しい事業が起き、人が集まる「すみだ」をつくる

4 産業経済

かつて墨田区は町工場や商店で賑わった活気ある町だったが、今や町工場や商店が姿を消し、昔の情緒ある町並みが失われマンションが建ち並び、寂しい。町工場や商店に働く人々が、戦後復興にいかに貢献したか、今も町工場や商店を営んでいる人々を応援してほしい。（手52）

すみだプレミアム付デジタル商品券について、周知が足りないのではないか。（手59）

すみだプレミアム付デジタル商品券について、マイナンバーカードを介せず、webまたは郵送での応募で販売してほしい。（手73）

すみだプレミアム付デジタル商品券について、案内のパンフレットが分かりづらい。そもそもPayPay一択なのは、何故か。（手85）

DXやGX等の進展により起こり得る、産業・経済・社会への様々な変化について、具体的な対応策を検討すること。（陳3）

企業における人材・設備投資、研究開発に対する支援、特に雇用形態や企業規模に関わらず、変化に対応した働く者の学び直しや企業主体の職業能力開発への支援を強化すること。（陳3）

IT人材をはじめとするデジタル化の促進に向けた各種環境整備に対する積極的な支援を強化すること。(陳3)

墨田区発注工事については地元業者の活用を優先的にお願いしたい。(陳4)

足立区では「区内中小企業人材採用支援助成金」が4月から始まったが、墨田区でも同様の支援制度創設を要望する。(陳4)

社会情勢不安や円安・物価高騰の影響を受ける区内中小企業及び個人事業主へ、無利子もしくは、全額利子補助の区融資制度の拡充を要望する。(陳4)

墨田区HPの「すみだ企業ガイド」を事業者同士のマッチング支援サイトに改編し、効果的にマッチングするためのAI等を活用した仕組みの導入を検討してほしい。(陳10)

産業・商業の活性化など、他自治体と比較しても先進的な取組を行っており、墨田区の良さを実感している。(住)

墨田区は、中小・零細企業が多く大変だと思うが、今以上に支援してほしい。(住)

ものづくりのまちと言うわりに、中小企業センターがなくなった。葛飾、足立の方がものづくり企業への手つだいが充実している。(住)

ものづくりのまちを具体的にもっと主張するべきだ。(住)

商店の活性化を希望する。(住)

キャッシュレス決済の普及をより広めるために、区独自のポイントキャンペーン等を今以上に増やしてほしい。(住)

最低賃金が上がっていないので、物価高は家計を圧迫する。最低賃金を上げてほしい。(住)

墨田区ならではの職場と求人を結ぶweb “すみだの仕事”のような事業はあるのか。(住)

区民割の買物券等があるとよい。(住)

共同経営のようなものでもよいので、水耕栽培等検討いただければ幸いだ。(住)

観光やタワーマンションの乱立といった、一部だけが潤うようなものではなく、小さな商売がしやすい、職人の町、墨田区ならではの施策を期待している。移住して1年半程だが、下町の雰囲気を気に入っている。自分自身も小さなイベント等を行っていきたい。京都の職人文化、町文化は墨田区のお手本となると思う。ただ観光のみに重点を置いた区政には反対だ。(住)

安心して暮らせる「すみだ」をつくる

5 危機管理

(1) 防災

区報で水害時の広域避難が推奨されていたが、令和元年の時に難しさを実感した。年末年始等にも対応出来る職員がいなければ意味がない。実用性があるように変えてほしい。(手31)

自治体が防災用品購入に対して5,000円程度でも補助金を出してくれたら、多くの人が高い意識を持って災害に備える事ができ、良い税金の使い方になると思う。(手64)

トリフォニーホールなど防災施設にした方がよい。キャンピングカーを購入するとともに、防災ボランティアには食事を提供すべき。防災のために、地震税を取った方がよい。(手100)

避難生活が長期化することも視野に入れ、避難場所運営に際しプライバシーの確保・セキュリ

ティ対策、施設のバリアフリー化を進めること。(陳3)

帰宅困難者対策として、一時施設の確保は区施設だけではなく、民間事業者と連携し、引き続き確保に努めること。(陳3)

荒川区を参考に、安全性の高い防災ヘルメットを全ての生徒に支給すること。(陳3)

水害から区民の命や財産を守り、生活や事業継続の原状回復を早めるための防水版(止水板)設置の助成制度創設を要望する。(陳4)

応急対策業務に従事する際、災害協定事業者と分かるものの作成及び配布を要望する。(陳4)

災害時における建築物等のアスベスト飛散防止、災害廃棄物のアスベスト対策についてマニュアルを策定すること。(陳7)

荒川氾濫に備え、避難所のスペース拡充、浸水しない備蓄倉庫や非常用発電設備整備、2週間以上の避難が可能な大型避難施設の複数整備等、広域避難だけでなく地域特性に応じた複数の避難行動パターンを組み合わせた対策を検討し、分かりやすい周知してほしい。(陳10)

災害時医療救護活動従事者への災害時着用ビブスの配布。(陳12)

下水の穴が小さく、大雨の際に詰まって大変な事になっているので、改善してほしい。(住)

大好きな街なのに、治水や天災には心配なところがある。東京の偉大さを見せてほしい。(住)

業平小学校に設置している防災放送用装置の向きを変えてほしい。(住)

区の防災無線放送の音声が、人によって何を言っているかわからない時がある。(住)

防災対策は火災を重点的に対策してほしい。木密地帯の京島が延焼しそうで恐ろしい。明治通りを拡幅するなり、区画整理するなどして、とにかく火事にならないようにしてほしい。(住)

災害対策について、地震で火災になったときどうしたらよいのか、もっと踏み込んだ対策や、何をしているのか、どうしたらよいのか情報がほしい。(住)

安心安全なまちづくりのため、防災対策の強化は最重要課題と思う。首都直下型地震を想定して広く住民に情報発信し、日頃からの備えを明確にしておく必要性を感じる。特に人口増に伴い、避難場所や食料品、物資、飲料水の確保が充分なのかが疑問である。(住)

地震に弱い地域なので、地震が生じた後の、その後の対応に備えて準備してもらいたい。(住)

いずれ起こり得る首都直下型地震対策の準備をしてほしい。(住)

地震対策をもっと行ってほしい。具体的に、避難訓練等の推進、助成金の増額、防災対策のプロモーションの実施、助け合うことのできる日頃からの声掛けや取組など。また、マンションや住居の耐震への対策をもっと後押ししてほしい。(住)

細い路地、古い建物が多く、地震・延焼や水害が心配。災害があった時、危険度が高かったからこそ、手厚い対策が取られていて結果的には被害が少なかったとなるようにしてほしい。(住)

地震、水害に対しては、区からの情報を参考に準備できることをしていきたい。(住)

隅田川や荒川の氾濫は、いつかは起こると思う。水害の予防や対策、保障も考えてほしい。(住)以前、台風により河川が増水した際、避難所がなかなか開設されず、不安に感じた。開設の判断は早めにしてもらいたい。(住)

水害の際、区外避難を奨励されているが、区外で提携されている避難地はあるのか。(住)

ハザードマップを活用し、住民への周知を徹底することが重要だ。浸水リスクの高い地域における排水設備の強化や、雨水貯留施設の点検、整備を進めるべき。また、避難経路や避難所の見直しを行い、迅速な対応が可能な体制整備が求められる。最後に、住民との連携を深め、定

期的な防災訓練や情報共有を行い、水害への備えを万全にすることが必要だ。(住)

災害に弱い街なので、何よりも災害に強い街づくりをお願いしたい。防災意識やサービス等ではなく物理的なインフラ整備に重点を置いてもらい、火災、水害の起きにくい安心して暮らせる街にしてもらいたい。(住)

災害に強い街へ、国と東京都と協力してほしい。(住)

防災対策について、個人での対策に限界を感じる。情報がもっとあると嬉しい。(住)

災害時の避難先が不明瞭に思う。高齢者を複数人抱えて、公共交通機関のみで区外への避難は困難だ。区外への避難を推奨されているが、区内でも避難できる場所を整備してほしい。(住)

災害時の避難所について 墨田区は住みやすく、ペットを飼っている人も多いと思う。避難所はペットも一緒に安心して避難できる場所を確保してほしい。(住)

大災害が起きた時に、避難所等は機能しないのではと考える。在宅避難が可能な場合はまだよいが、区の行政機能が完全にダメになった場合にフォローしてくれる自治体はあるのか。(住)曳舟小学校の災害備蓄品や避難場所を見学した。人口の割には心もとない感じがした。(住)防災について、自分自身も考えていかないといけないと思うので、区でも対策をもっとアピールしてほしい。(住)

区HPの防災ページの目次の項目が多く、どれが自分に関わりがあり大切な情報なのか、分からなかった。災害が起きた時、正しく情報や支援を受けることができるか少し心配だ。(住)車いすを利用している家族があり、避難するにも荷物も多いのに、避難所も遠く、近くにホテルもないためどこに避難すればよいのか分からぬ。役所の人が一軒一軒訪問して相談に乗ってくれている自治体もあるようだが、墨田区ではその様な事はないのか。(住)

(2) 防犯

地域の「治安の状態」を数値化し、図表を作り、自治体のHPに公表すること。その数値を減らすための「数値目標」を決め、「実施計画」を立て、公表し取り組むこと。(陳2)

防犯カメラ・照明の設置、子どもの登下校の見守り、パトロールの強化等の対策を講じること。

また防犯カメラは災害時の被災状況の確認にも応用できるため積極的に導入すること。(陳3)

防犯にも力を入れてほしい。(住)

防犯カメラを増やした方がよいと思う。(住、同様の意見3件)

両国駅近くは、ここ数年で多くの高層マンションができ、大部分が賃貸、1Rが多く、単身者が増え、地域の治安にも不安な要素が増えている。防犯カメラを多数設置してほしい。(住)

区の防犯メールに登録しているが、他の人には来ているのに自分には届いていなかったり、犯人が逃げているのに、通知が翌日だったり、もっと早くスムーズに受信できたら嬉しい。(住)

治安が悪いというイメージが払拭されればよいと思う。錦糸町駅の北側の昼は子持ちにも過ごしやすくステキな町だが、夜は怖くて外には出られない。(住)

墨田区民だが、江東区に近い場所に住んでいるせいか、江東区の方がおしゃれで便利な気がする。墨田区ではよく錦糸町を利用し、非常に便利だが、やはり治安が悪いように感じる。(住)

区内での犯罪がなくとも、犯罪の拠点が区の空き家などにならぬよう、気をつけてほしい。(住)

夜中の駅前、繁華街の客引きの禁止条例(中国人マッサージ)(住、同様の意見2件)

錦糸町南口の治安が悪いのでどうにかしてほしい。(住)

本所警察も両国に戻すべき。こちらの地区に警察がないのは不満。(住)

外国人や観光客が増えているが、治安が悪化し、犯罪が増えないように注意してほしい。(住)

隅田川テラスの治安、清潔感を保ってほしい。最近、夜中、叫んでいる人がいたり、外国人観光客が地べたに座り野外での飲酒が目立つ。(住)

不法滞在者が多いと感じている。区としても何か対策を。(住)

23区の中では、生活費が抑えられる住みやすい区だが、それにあわせた年収層が集まりやすく、悲しいかな犯罪も起こりやすいので、そういう人達を呼び込まない街にしてほしい。(住)

6 福祉

(1) 福祉全般

生活保護受給者への冷暖房費の助成事業があるが、生活保護受給者のみが優遇されている。収入は同程度でも、生活保護かどうかで受けられない補助や助成がたくさんある。(手11)

生活保護受給者の賃貸契約に関して、個人情報保護の観点から、保護打ち切り等の連絡をオーナーがもらえないことについて納得がいかない。(手111)

月一回のペースで土木管理課の職員が路上生活者の小屋の撤去、片付けを命じている。路上生活者にどういてもらうためということだが、非常に冷たい対応だと感じた。(手147)

価格高騰重点支援給付金受給権消失の知らせが自宅に届いた。対象者はその前に亡くなっているが、申請書類の案内等をもっと早くもらえば、受け取れたのではないか。(手190)

生活困窮世帯や子育て世帯、非課税世帯への区独自の支援・援助策の検討を要望する。(陳4)

生活保護費の夏季加算の新設と冬季加算の増額をお願いしたい。(陳6)

ケースワーカーを適正に配置してほしい。(陳6)

生活保護業務について、これ以上委託を拡大しないでほしい。(陳6)

給付金を令和5年度受給していると、令和6年度は受け取れないのが残念だ。食材などの値段が高く、生活の支援を継続してほしかった。(住)

少額の年金でも安心して生涯を過ごすことが出来る福祉を充実してほしい。(住)

若い世代に向けた助成金や補助などがあると、より住みやすい。(住)

生活保護への見直し。外国人生活保護者への支給を見直して、きちんと税金を納めている人に還元されるような施策をとってほしい。(住)

(2) 子育て支援

以前からファミリー・サポート・センターを利用しているが、ボランティアの人が手作りの食べ物を持ち込むことに疑問を感じる。何の規定もない状態で、食中毒になったら誰が責任を取るのか。ボランティアの手作りの食べ物の持ち込みを禁止してほしい。それが難しいようなら、条件を満たせば持ち込みができるような規定整備をしてもらいたい。(手14)

保育コンシェルジュに保育園の定期利用について相談したが、全く参考にならなかった。対応を見直してもらいたい。(手22)

双子を育てているが、フローレンスというNPOが行っている双子助っ人くじというベビーシッターサービスを、墨田区でも導入について検討してほしい。(手24)

家事・育児サポーターを利用したが、良い事業だと思う。第一子の時と比べ、子育て支援を頑張っていると感じる。公立幼稚園は4歳からなので、対象年齢を引き上げてほしい。(手26)近隣区と差がある認可外保育施設(企業主導型含む)の補助拡大を検討してほしい。(手33)区立保育園のお昼寝布団の運用を廃止して、「コット」を利用してほしい。(手39)

「はぐ(Hug)」を実施しているが、利用料金も高く、予約も取りづらいので、一時預かり(東京都ベビーシッター利用支援)の導入を検討してほしい。(手53、137、138)

4年生になると学童保育に行けなくなるため、放課後及び長期休み時の居場所に困っている。学童の対象が6年生までの地域もあるので、学校や学童で、4~6年生の放課後及び長期休み時の居場所設立を検討してほしい。(手108)

シングル家庭への支援で他自治体と差があるので、改善してほしい。また、どのような支援があるのか情報発信に力を入れてほしい。(手117)

賛育会病院が赤ちゃんポスト等を計画しているようだが、再考してほしい。(手119)

学童クラブを、小学4年生以上も利用できるようにしてほしい。(手133)

子育て支援総合センターに行った際、子どもを預かる場所として遊戯室があると説明を受けたが、帰省者は利用できないと言われた。区やセンターのHPには記載しておらず、他地域のセンターは誰でも利用可能なところが多い。事前にHP等に記載すべきである。(手140)

男性保育士による性犯罪事件の再発防止について真剣に考えてほしい。(手151)

休日保育は妻が入院中に、夫が休日・祝日も労働する場合は利用できないとのことだが、利用要件を早急に改善してほしい。(手172)

保育園に提出する「家庭状況調査票」に記載する情報は、保育に当たって必要なもののみに改定してほしい。(手186)

子どもの医療証申請について、墨田区では出生から15日以内とされているが、他自治体では申請までの期限を3か月以内のところもある。墨田区は短すぎのではないか。(手188)

墨田区は他の区と比べて、子育て支援が手薄いと感じている。(手196)

子育てひろばや児童館の設備に不満がある。江東区は無料で子どもを遊ばせる場が多くあるが、墨田区は少ない。子育てひろばにも体を使って遊べるような遊具や設備がない。(手196)
公立私立を問わず、どこの保育園にもしっかりとした開閉式の日よけ等、暑さ対策に予算をつけてほしい。(陳6)

公立・公設民営学童クラブと私立学童クラブとの補助金格差が埋まる制度を導入してほしい。(陳18)

学童クラブ育成年齢を小学6年生まで広げるよう検討してほしい。(陳18)

学童を小4以上も見てくれるところを充実してもらいたい。(住、同様の意見1件)

学童保育を朝7時からお願いしたい。(住)

小学校の放課後子ども当番を廃止してもらいたい。学校にとって収益になるという点もあるが、そもそも微々たる収入であり、その程度の収入のために仕事の調整をするくらいなら、その分を別途集金してもらいたい。また、参加している子どもも少なく、費用対効果が低すぎる。他区はシルバーサービスなど外部サービスを導入し、さらに良い環境を提供している。(住)

放課後の子どもの預かりサービスに力を入れてほしい。預かりサービスが充実していないから、正社員でも学童に預けられないし、パートで働く時間も限られるし、長期休みは預け先がない

ためパートで働くことができない。働きたいのに預け先がないから働けない人が周りにたくさんいる。江東区、江戸川区とサービスが違うことに驚き、墨田区に住んだことを後悔している。子育てを高齢者より、民間の人に見てもらう方が安全だし安心して預けられる。(住)

2人目の子どもを産んだ時、上の子の保育施設や学童利用が制限され利用できなくなつた事が非常に不便だった。育休中の母親に優しくないと感じた。また、産後すぐ申請したにも関わらず、赤ちゃん訪問の時期が遅く、子育て支援のポイント付与も遅くなつたのが残念だった。(住)

子どものための施設や施策を増やしてほしい。(住)

保育園の充実、子育て支援、安心して子どもを産める区になってほしい。(住)

子育て支援の充実。(住)

子育てに関する支援が他区に比べて手厚くない。(住)

子どもの数が多い割に、対策が不十分だと思う。(住)

少子化が進むところ、新たに生まれてくる子どもたちを持つ子育て世代に手厚い子育て支援を今まで以上に推進してもらい、その子どもたちが大人になっても継続的に墨田区に貢献してくれるような、区民みんなで支え合える様な区になると嬉しく思う。(住)

墨田区は介護、福祉への取組には力を入れているのかもしれないが、育児サービスが充実していない。保育園も江東区は施設が綺麗なところが多く、給食も工夫している。しかし墨田区は施設が古く、昔ながらを貫いている。延長保育も少なく、共働き世帯に不向き。(住)

国からの出産一時金では出産費用はまかなえないので、区からもサポートがあるとよい。子育て世帯にサポートがほしい。昨年子ども1人1万円の商品券・図書券の配布は嬉しかった。(住)

区だけではなく、全国的に思うことで、子育て世代に対して充実した支援をしてほしい。育休の仕組みを拡大してほしい。育休が欲しいため短期間のみ就業して、育休後辞めてしまう話を聞くと、職場への皺寄せとなっているような気がする。(住)

特別養子縁組を希望しており、江東区の児童相談所によくお世話になり、非常に温かく対応してもらっている。墨田区は江東区と共同になっているが、これからも児童相談所の益々の発展を期待している。(住)

パパママになりたての人も安心して子育てできるよう、気軽に相談できるところが近くにあると嬉しい(子育てひろばに行ってみたいが、猛暑の中幼い子を連れて行くには遠いため)。(住)

保健センターが遠いので、月に一度など頻度が少なくてもよいので、出張所等でも育児相談などができると嬉しい。(住)

2歳児までの保育料の上限が高く、フルタイムで働く収入でギリギリ上限の月額7万円になつてしまつと時短で働く収入の大部分を占めてしまい、お金があまり残らない。働く分税金を收めているのに手当もないで不公平に感じるし、子育てにお金がかかり、2人目以降の出産に不安を感じるので、保育料を安くしたり、収入などによらず、共働きをしている人を支援する仕組みに取り組んでほしい。(住)

(3) 心身障害者福祉

墨田区障害者虐待防止センターに、家族が虐待だと思って連絡しているのに、徹底した調査もなく、いいかげんな対応をされ納得がいかない。(手115)

様々な障害特性を持つ障害者に対応したグループホーム及び短期入所施設の整備をお願いし

たい。(陳14)

強度行動障害の人、本人の高齢化に伴い車椅子を使用する人、医療ケアを必要とする肢体不自由児者に対応し、児童や高齢者も利用できる複合施設の建設をお願いしたい。(陳14)

災害時に障害のため、一般の避難所での生活が困難な人たちが利用できる福祉避難所を、地域ごとに設置してほしい。(陳14)

区の施設や公園にトイレを新設・改築する際、乳幼児だけでなく大人の重度障害者のケアもできるよう、ユニバーサルシートを設置してほしい。(陳14)

身体障害者相談員及び知的障害者相談員の定年を延長してほしい。(陳14)

区内にいくつかある廃校の空き教室を福祉施設に転用し、区内障害者団体が利用できるよう施設整備をしてほしい。(陳14)

聴覚に障害があっても、いつでも自由に区役所へ行き手続きや相談ができるよう、区役所に墨田区登録手話通訳者を設置してほしい。(陳14)

障害者生活介護施設の充実。利用者増に対応できていないように感じる(人材の不足等)。(住)

障害者家族に対しての相談支援ができる組織。(住)

障害者の救急搬送の受け入れ先がない(拒否されることがある)。(住)

高齢の親族を安心して預けられる障害者入所施設を早急にお願いしたい。(住)

聴覚障害者にとって、手話は大事な言語だが、同等に視覚的な情報がとても役に立つ。絵やマーク、記号で示すことで、子どもの聴覚障害者もわかりやすくなるし、外国人にも有効な手段だ。観光地もあるため、視覚情報を増やしてほしい。区施設のほか、区内主要エリアで、「見てわかる」を増やしてほしい。(住)

障害者にも仕事を。人手不足の分野、農業、工場で雇用とか。(住)

一般企業で知的障害者の障害者雇用を行っているところが少なく困っている。(住)

コロナの時のワクチン接種の取組は全国一早くニュースにもなる程でよかったです。障害者福祉への取組は少し遅れている気がする。もう少し進んでくれるとありがたい。(住)

(4) 高齢者福祉・介護福祉

介護保険料が高すぎる。収入別に「介護保険料が高いと思うかどうか」調査し、負担に感じていない層から介護保険料を取るべきだ。(手11)

ケアマネージャーがなかなか付けてもらえない、職員に不満がある。(手82、152)

紙おむつ等支給申請について、「入居時などの時点で案内する」または「申請時には入居などの時点まで遡って支給する」という対応が必要だと感じる。改善してほしい。(手101)

むこうじま高齢者支援総合センターでの説明が一方的で不快だった。サービス利用の入り口となる窓口なので、丁寧に対応してほしかった。(手121)

介護従事者確保のため、待遇を改善する施策および滞在介護従事者の復職支援研修や介護資格取得に対する研修費補助、奨学金補助、住居費補助等の支援を強化すること。(陳3)

高齢者の自立を支える区独自の高齢者福祉・介護サービスの拡充をお願いしたい。(陳4)

高齢者等紙おむつ支給では、葛飾区は送料が無料だが、墨田区でも無料化してほしい。(陳6)

訪問介護の介護保険限度額制度の撤廃。必要な回数を負担なく使えるようしてほしい。(陳6)

一人暮らしの高齢者に寄りそうサービスを増やしてほしい。(住)

一人暮らしなので、全面的に人の手助けが必要になった時、施設へ安心して入所出来る様にしてもらいたい。切実な問題と感じている。(住)

老人ホームの増設(子供と同様、待機をなくす)。(住)

高齢者がもっと気軽に介護サービスが受けられるよう、介護サービスを充実してほしい。(住)

高齢者福祉課が取り組む体操教室認知症予防講座、運動教室など区報で知った。働いているので平日は参加できないが、大きく取りあげてほしい。定員が少ない、見直してほしい。(住)

亡母そして今は夫が介護保険を利用し、色々なサービスを受けている。お陰様で体力も筋力も増して、自分の事は自分で出来る様になりつつある。これも皆様のお陰と感謝している。(住)

介護現場で働く職員の給料をもっと上げてほしい。高齢者の命を預かる現場としては安いと思う。介護現場はキツイ、キタナイ、給料安いから、介護の仕事をしている人はいつかないし、若い人はやりたがらない。日本の若い人たちは介護から離れており現場に来る実習生は外国の方が多く見られる。外国の方は介護の勉強をよく学んでおり就職した所ではよく働いてくれている。日本の若い人たちがもっと介護の仕事をしたいと思う施策を考えてほしい。(住)

高齢世帯が増えているので、どこにいけばどのような支援を受けられるのかをもっと明確にし、分かりやすく気兼ねなく相談に行けるような取組が必要だと思う。(住)

高齢者優遇のような取組は減らすべき。(住)

信用のできるヘルパーがよい。家族しか信用ができない。(住)

介護施設が充実しており、ありがたい。(住)

7 保健衛生

(1) 対人保健活動

「8020 達成者表彰」について、区外の歯科医に通院している人も対象にしてほしい。(手13) 歩数により商品券などを配布している市町村があることを知った。歩く効果で医療費を削減でき、元気な人が増えているようなので、墨田区でも取り入れてもらいたい。(手34)

不妊治療の助成金等の支援、向島保健センターへのアクセスが不便なので、検討してほしい。(手62)

リバーサイドホールで歯科検診を受けた。歯科検診の結果について、細かくアドバイスがあり、とてもよかったです。関係者に感謝を伝えてほしい。(手66)

移転予定の新保健センターで行われる乳幼児健診の健診票の郵送時に、タクシー利用券の配布を希望する。向島保健センターに比べ交通の便が悪く、腰すわり前の乳児の場合、抱っこで自転車に乗ることは道路交通法違反となるため、自転車で行くこともできない。(手69)

産後ケアの拡充に感謝している。愛育クリニックの宿泊型産後ケアと、聖路加の宿泊型産後ケアも提携してもらえるとうれしい。(手87)

区が実施する胃がん検診の案内について、「鎮痛薬や鎮静薬は使用しません。」という注意書きが強調されている。過去に胃内視鏡検査の経験があれば、鎮痛薬等の必要性が人によって異なることはわかるはずだ。一律で「認めない」という回答は検診を勧める立場として優しくない対応である。いま一度リスクについて検証し、受診者の選択肢を増やしてほしい。(手92) 帯状疱疹ワクチンの助成が行われる前に、自費でワクチンを接種している。一度接種している

と助成が受けられないとのことだが、納得できる理由を教えてほしい。(手107)

保健子育て総合センターの健康推進課を利用した際、紙の受付表が机上に放置されており、それに気づかないと受付されず、特に案内もなかった。また、椅子に座って待っているように伝えられたが、窓口で対応中の会話がすべて鮮明に聞こえてしまう状態だった。(手114)

ソーシャルワーカー、訪問看護、ヘルパーの支援を受けたいが、保健師との面談が必要なため、受けられない状況であり、治療も思うように進まない。保健師を代えてほしい。(手156)

帯状疱疹ワクチンの50歳以上の助成を継続してほしい。(手165)

帯状疱疹任意予防接種の補助は、2回目の接種を受けられない区民が出ないよう、有効期限を延長するか、接種期間を延長してほしい。また帯状疱疹任意予防接種の補助について、全ての区民が公平にワクチン接種の機会を得られるよう、制度の見直してほしい。(手169)

自立支援医療費が1割負担になり大変救われているが、一部自治体では負担額が0円だと聞いた。墨田区でも今後、精神科の受診や薬の処方を自立支援医療で無償化してもらえないか。自立支援医療の申請から届くまでに数月かかり、それまでの費用が返金されないことに疑問を抱いている。一部自治体では後日返金されると聞いたが、医療費を還付してほしい。(手168)

精神障害者保健福祉手帳の更新時など、葉書でお知らせが来るが、葉書だと同居人に内容を見られてしまうため、メールやLINEで通知する方法に変更してほしい。(手183)

子どもを望む夫婦が早期に検査を受け、必要に応じ適切な治療を開始できるよう、不妊検査や薬物療法、人工授精等の一般不妊治療にかかる費用の一部を助成・補助、拡充すること。(陳3)

胃がん検診では、墨田区以外での医療機関で受診できるようにしてほしい。(陳6)

後期高齢者歯科検診事業の見直し(年齢に85歳を追加)(陳12)

高齢者福祉課への歯科衛生士の雇用(陳12)

立花地区は小児科専門医の小児科と皮膚科がないので、小児科、皮膚科を開業する医師たちが開業しやすいサポートができるとよい。(住)

コロナ対応では安心感、信頼感が増した。自身の年齢的にも医療に関する取組(予防検診、ワクチン補助金など)に期待している。(住)

コロナワクチンの集団接種は迅速な対応ありがたかった。(住、同様の意見2件)

新型コロナ感染症対策が充実していて、とても安心した。(住、同様の意見1件)

コロナ禍の墨田区の対応は本当に素晴らしいだった。居住地を選ぶ上で、安心して生活できることはいかに重要かを身に染みて感じた。あのような恐ろしい状況の中での、ほかの区にはない墨田区の対応は安心材料として勇気づけられた。住んでいることに誇りを持てた。(住)

コロナのパンデミックは、医療の力と、私達の規律の力で抑えられた。区長・保健所の方々の努力を讃めたい。ワクチン接種の準備・運用は1番と言ってよい。区に住んでよかったですと感謝している。横川に立派な保健所がオープンするのを見ていると行政への信頼が高くなる。(住)

区民の健康が守られるようにしてほしい。(住)

子宮ガン検診という検診だったのに、子宮頸ガンの検査だけで子宮ガンの検査をしてもらはず、子宮ガンになった。病院で検査をしようすると、病院によって料金が違う。子宮ガン検診とうたうのであるならば両方やるべきだ。病院によって金額がちがうのもどうかと思う。(住)

子どもが発熱し、休日応急診療所を利用しようと、電話をかけても通話中でつながらず、直接行ったところ、スタッフに「電話してください」と言われ、結局利用できなかった。まったく

運用ができないのではないか。民間病院に依頼するなどして、ちゃんと利用できるようにはならないのか。(住)

不妊治療で区の助成を行ってほしい(現在都の助成金しかない)。(住)

(2) 動物の愛護と管理

地域猫・ノラ猫への理解や活動を広めてほしい。猫が好きな人も嫌いな人も住みよい街へ。(住)

(3) 民泊、旅館業

民泊の増加に伴い、深夜の騒音やゴミ等の問題が増加しているため、いわゆる上乗せ条例を制定してほしい。(手15)

都内で最も厳しい民泊と旅館業への追加の条例の制定を、早急に求める。(手25)

近所の宿泊施設で、連日宿泊者が出す騒音に大変迷惑している。住民の安心安全な生活の確保、旅館業法の法令順守のため、当該施設に対し行政処分・行政指導を強く要望する。(手70)
区の旅館業政策が区民に寄り添っていない。全ての宿泊施設24時間対応の管理人常駐を義務付け、違反事業者に罰金・営業停止・免許剥奪等の厳しい罰則を設けてほしい。また、現在営業中の施設を徹底監査し、問題施設に即時停止命令を下してほしい。(手122)

民泊急増に伴い、治安が悪化し、不安だ。騒音やごみの不法投棄等は、民泊事業者が対応するはずだが、機能しておらず、住民が対応せざるをない。ネットを見ると、他区は民泊への規制が厳しいので、墨田区が穴場とされている。これまで民泊に対し、何もやってこなかったのだから、事業者が簡単に参入できないよう、どこよりも厳しい条例を作ってほしい。(手128)
近隣に民泊が急増しており、治安の悪化や自宅への迷惑行為などで、大変困っている。古い建物で民泊経営をしているところがあるが、安全面の確認や規制などをしてほしい。(手131)
宿泊をする場所なのに管理人のいない施設が、民泊として認められるのか。管理人がいなくても民泊の許可が与えられるようだとしたら、変更してほしい。(手153)

区には、民泊の地域担当者を配置し、業者へのフォローや指導をしてほしい。(手162)

民泊に泊まりに来る観光客が騒がしく悩まされている。その都度、民泊の緊急連絡先や警察に連絡する等対応しているが、客は入れ替わるため一向に解決せず、住民の負担だけが増えていく。許可等をする一方で住民の安心安全も守れない区の対応はおかしいと思う。(手171)
近隣に民泊が続々と開業している。民泊利用者が原因となり、騒音やゴミ、火事、喫煙などの問題が発生する恐れがある。区には民泊に関する通報、苦情を受け付ける専門のコールセンターを設置し、区報などで区民へ周知してほしい。(手184)

区内に民泊、旅館業が急激に増えている。区は防災に強いまちづくりを目指しているが、無人の民泊や旅館業をこれだけ増やすことにリスクはないのか。火災等が起きた場合、利用者や周辺住民で対応する必要がある現状は、防災の点からも問題がある。常駐人の配置について必須にすべきだ。また、対応について、生活衛生課と建築指導課が連携をしていないことも問題だ。

他自治体ではこれらの分野が連携を取っている場合も多い。(手194)

民泊が増加しているが、区には住民目線の対応をしてほしい。(手197)

隣家に急に旅館業営業計画書が貼られ、ごく一部の近所にちらしが配布され驚いた。墨田区は旅館業の施設に関する規制が弱いそうだが、周りの状況を確認し、許可してほしい。(陳13)

旅館業や民泊営業の許可基準を厳格化し、資金、運営能力、責任感のない業者が簡単に参入できない仕組みを作ってほしい。(陳19)

ハザードマップで危険とされている区域では、民泊や管理者のいない宿泊施設の建設は不可能、既存の施設も廃止を望む。(陳19)

観光に関しては、民泊が増え、いずれは街が荒れていくのではと心配している。(住)

民泊を後押ししないでほしい。わけのわからない若者や外国人が増えて迷惑。夜の住宅街でも全く関係なく路上で騒いでいる。どうか川口みたいな街にしないでほしい。(住)

民泊に外国人が入れかわりたちかわりに入るには不気味。(住)

民泊施設の許可は厳しくするか、民泊を止めさせるような施策の実施をお願いしたい。(住)

近所に外国人観光客向けなのか、受付などない普通のマンションのような形の宿泊施設がたくさんある。ちゃんとした営業許可の取れたものなのか不安。建物の高さの制限などあるのかわからないが、大きなホテルを建てて観光客を集約することはできないのか。(住)

8 環境

(1) 公害・環境問題

近所のマンション建設工事において、騒音規制法違反及び作業時間の違反があった。作業時間厳守するよう指導してほしい。(手23)

レベル1～3全てのアスベスト含有建材について、建築物アスベスト除去工事の助成制度創設を要望する。(陳4)

地球温暖化防止設備導入助成の申請書類の簡素化を要望する。(陳4)

ハトやカラスにエサをあげている人がいる。朝、道路付近のゴミ捨て場が酷く荒され、生ゴミが散乱している。カラスが多い。どうにか改善してほしい。(住、同様の意見2件)

ウミネコ被害が気になるので、区として積極的に対策をしてほしい。(住、同様の意見2件)

早朝時のゴミ捨て場(マンション下、コンビニ前)の害鳥の被害対策、夕方時の公園内と大通り(駅前)の害鳥対策をしてほしい。(住)

害獣対策補助金制度の確立、緑化に力を入れてほしい。(住)

空気がもっときれいな町になれば良い。窓を開けると工事のにおいやタバコのかおり、自動車整備工場のにおいなど、仕方のないことだが、洗濯物もときどき心配だ。(住)

マンションの建設ラッシュで、解体時の埃や振動等による家屋へのダメージが気になる。騒音や陽当たりの悪化も気掛かりだ。環境モニタリングなど徹底指導してもらいたい。合法であっても、長年住む住民の迷惑も考慮してほしい。大通りでもない立地に10階建以上のマンションは、強欲資本主義の象徴に思える。区は住民が増えて税収が上がればそれでよいのか。(住)毎日毎日近所のどこかで工事が行われていて、振動がうるさい。空気汚染も気になる。粉塵などで洗濯物が外に干せない。(住)

繁華街ということもあるが、外での喫煙、飲酒、ごみのポイ捨てが多い、対策してほしい。(住)

区の環境美化に力を入れてほしい。(住)

羽田空港を離陸した航空機が低い高度で飛行する様に見受けられる。もちろん騒音が発生し不快に感じる場合もあるのだが、もし航空機が決められた航路を外れた上で住宅地等に墜落や不

時着などしたら大惨事になる危険があると思う。せめて「決められた航路をある程度の高度で飛ぶというルール」を航空会社に守らせる様に行政から指導してほしい。(住)

冬になると業者が大音量で音楽を流して灯油を売りにくる。消費者センターに訴えても早朝や深夜でなければ対応しないとのこと。静かに暮せる町作りをしてほしい。(住)

騒音で錦糸町の歩道でスケートボードをしている人を取り締まってもらいたい。(住)

近所のカフェの音漏れがひどく、住宅地にある自覚もないため、夜遅くまでうるさいでどうにかしてほしい。奇声をあげたり大声で会話する客が外で騒いでいる。(住)

少し位税金を上げてもよいから、地球温暖化防止に力を入れてほしい。(住)

緑化推進で苗等配っていたが、最近なくなつたのが残念。緑のカーテンのための苗(ゴーヤ、メロン)が、ゴールデンウィーク後と遅いので残念。(住)

都会の緑や自然はそこそこでよい。逆に都会らしさにふってほしい。緑や自然がほしい時には自分は旅行に行く。(住)

街の景観が隅々まで清潔で緑豊かな良い環境の街作りを。(住)

地球温暖化を止めるため、炭酸同化作用(光合成)の役割が大きい。そこには植物が不可欠だ。集合住宅のベランダ、各戸に樹木を置き、森林を創造してはどうか。様々な種類の樹木は、常緑もあれば落葉もある。一年を通して植物の変化に人は癒される。その上二酸化炭素を吸収して酸素を放出してくれ清々しい環境に変えてくれる。真剣な議論と対応を期待する。(住)

緑化ボランティアやゴミ拾いボランティアの情報があれば知りたい。(住)

この10年の間、曳舟・京島地区の再開発により街の雰囲気が大きく変化したのを実感している。それに伴い、他地域から若年層を中心に転入が増え、深夜帯に大通り沿いで騒ぐなどの迷惑行為を見かけることが増えた。高齢者が多い地域なので何らかの対策をとってほしい。(住)

(2) 清掃・リサイクル

有料粗大ごみの支払いを、コンビニ等での現金払いだけでなく、ネットでのカード払いなど、デジタルでも可能にしてほしい。(手49)

粗大ごみ処理券を、識別情報を記載した紙を貼るなどでも対応可能にしてほしい。(手49)

粗大ごみ回収の手続きをしたのにもかかわらず、収集予定期日に回収されなかつた。業者にしっかり回収するように指導するとともに、速やかに粗大ごみの回収をしてほしい。(手50)

ガーデニングで不要になつた土を無料回収する区もある。墨田区でも無料で回収してほしい。(手60)

生ごみ処理機購入の場合、他区と同水準の20,000円程度の助成金支給をしてほしい。(手78)

生ごみ処理機助成金対象がコンポスト系の商品のみだが、マンション住まいに導入しやすいのは電気を用いた乾燥系のコンパクトな機種であり、江東区ではこうした機種も助成対象となっている。燃やせるごみ削減のためにも、対象機種の範囲拡大をお願いしたい。(手106)

多くのインバウンド観光客が自販機やコンビニで飲み物を購入しているが、すべての自販機には空き缶回収ボックスが設置されていないため、歩道や植栽に空き缶や飲料容器が廃棄されている。区の条例で、飲料の自動販売機には空き缶回収ボックス設置を義務化、コンビニには店舗前にゴミ箱設置を義務化してほしい。(手146)

ごみ処理手数料の減免申請受付の該当のホームページの事由には「その他区長が特別の理由が

あると認める者」という表記を職員に尋ねたところ、「やったことがないからわからない。」と、調べる姿勢も見せなかつた。問合せをしてもわからないのは問題である。(手187)
環境に対する理解を幼少期から醸成するため、清掃事務所で行う「出前講座型環境学習」を区内全ての小学校で実施すること。(陳3)
地域集積場所の前に住んでいるが、ゴミ出しについて、前日の夜や夜中に出す人や生ごみを荒らすカラス等にいつも困っている。きれいな街づくりを進めていく上で、ゴミ回収と共に、住民意識のモラルも上げていくことに努力してほしい。(住)
ゴミのカラス対策。(住)
燃えるゴミの回収日を火土にしてほしい(土日でゴミがたまるため、水曜までもたない)。(住)
最近、プラスチックゴミの分別が始まったが、必要なのか。(住)
ゴミのプラスチックリサイクルが、プラスチックに取りにくい紙が貼ってあつたりした場合などでもリサイクルとしてだしていいのか、いまいちわからない。(住)
プラスチックゴミの処理が、手間暇かかるので、出し方を変えてほしい。(住)
プラスチックごみ区分の新設がありがたかった。(住)
時々古着回収を利用しているが、自分の都合で出せる場所があるともっと協力できる。(住)
すみにや～るにいつも助けてもらっている。(住)
日曜朝8時に町会がスピーカーでアナウンスし、リサイクル回収をしているが、朝8時はやめてほしい。月曜が区の段ボールやペットボトル回収日なのに日曜にやる意味がわからない。(住)
同じマンションの外国人がゴミ収集日するなどマナーの悪さが目立つ。区でマナーについてのパンフ(要作成)を配布してほしい。(住)
ごみ、資源ごみ等の回収をきれいにやってくれている。これからも継続してほしい。(住)
ゴミ分別表を区HPで探したが、わかりにくかった。検索で上位に出るようにしてほしい。(住)
資源ごみを出しても前日の夜中に車や自転車に乗って持っていく人が多く、区の財政になるのに腹立たしい。(住)
スポーツゴミ拾いをもっと墨田区内の色々な場所でやって欲しい。(住)
観光客などが増加してゴミの散乱も増えているので、清掃員に何か優遇してほしい。(住)
資源ごみで、家電でリサイクルできるものの収集を率先して行ってほしい。不燃ごみで引き取ってもらえるものも多いが、それができるならサイズをもう少し大きくしてほしい。(住)

(3) 噫煙マナー

錦糸町駅北口タクシー待機場所は路上喫煙だが、運転手が路上喫煙をしている。(手28)
路上喫煙禁止条例の周知を徹底してほしい。(手44)
横川コミュニティ会館利用者が脇の遊歩道で喫煙をしている状況を複数回現認している。対策を講じ、喫煙しないような環境を整備してほしい。(手45)
菊川二丁目交差点付近に喫煙所の受動喫煙に悩まされている。健康増進法に基づいた配慮をしてほしい。(手54)
錦糸町駅南口の喫煙所は人が多く行き交う場所であり、朝から晩まで喫煙所からの煙が非常に不快だ。考え方方が遅れていると思う。早期の撤廃を求める。(手94)
路上喫煙者に困っている。他区のように歩行喫煙者に対して罰金を課してほしい。(手116)

子育てしやすい区を目指すなら、路上喫煙を墨田区全域にて禁止にしてほしい。(手125)
錦糸町駅周辺では路上喫煙者が多く、その対策をお願いしたい。(住)
路上喫煙、歩きタバコをなくす取り組みをしてほしい。(住、同様の意見2件)
押上駅の喫煙所について、パーティションだけではなく、錦糸町のように囲ってほしい。パーティションの外で吸っている人がたくさんいるので、非常に通りづらい。(住)
保育施設の隣の建物のベランダが喫煙所として利用され、煙が保育園に回ってしまうような作りだった。保育士さんや子供たちがかわいそうだ。何とか行政で指導などできないものか。(住)
保育園の前で喫煙をする高齢者をよく目にないので、高齢者には住みやすく、子育て世帯には住みにくい街だと感じる。(住)

9 教育

夏季、連日熱中症アラートが出ているため小学校のプールが中止になる回数が多く、今後の水泳教育に不安が残る。他自治体では授業でスイミングスクールに習いに行っているところもあるので、墨田区でもそのようにしてはどうか。(手42)
私立幼稚園給食費の補助を所得制限なしに全員にお願いしたい。区立幼稚園及び私立幼稚園の給食費を無償化にしてほしい。(手86)
子どもが安心して学校に通えるよう、中学校に防犯カメラを設置してほしい。(手96)
特別支援学級の固定級設置をお願いする。来年4月からASDの生徒を対象とした固定級設置の計画を聞き、ADHDをカバーする同様の取組を切望する。また、まなびの教室は現状、週に1~2時間の支援と聞くが、少な過ぎると感じており、回数・時間の拡大を要望する。(手98)
スクールサポートセンターの自立支援教室や適応指導教室について、区立学校に在籍の生徒だけでなく、近隣区のように、区内在住の生徒であれば利用できるようにしてほしい。また、スクールサポートセンターの自立支援教室や適応指導教室について、区立学校に在学していないと利用できないということはHPにもパンフレットにも明記されておらず、直接電話した際に初めて知らされた。非常に分かりづらいのできちんと明記してほしい。(手103)
総合的な学習の時間でユートリヤを使用したいと考えているが、ユートリヤの部屋を無料で借りることはできないか。(手109)
教育におけるDXは子どもたちのために加速度的に進んだが、教員側は負担が増えるばかりで、メンタル的にも追い込まれる先生も多いようだ。1人担任制を見直す時期がきていると思う。
2人で1クラスを見るように変えていくのはどうか。(手126)
葛飾区や荒川区では、東京都のフリースクール助成金とは別にフリースクール助成金があるが、墨田区ではこのような独自の助成金はあるのか。(手127)
防犯上の理由からで、共働き世帯が一般化していることに鑑み、墨田区内の各校で子どもの携帯電話所持を許可してほしい。(手135)
会費がないと活動出来なくなると、入会しない人を説得してPTAに入会させている場合があると聞いた。このようなやり方はやめるべきだと思う。(手144)
小学生が放課後、安全に遊べる場所として、平日小学校の校庭や体育館を開放してほしい。また、保健子育て総合センター内に小学生が自由に遊べる場所を提供してほしい。(手154)

区立幼稚園のトイレ、着替えを男女別にしてほしい。(手157)

中学校支給のタブレットについて、中学生が調べて直ぐに設定変更が出来る環境を提供しているという点に関して問題だと思う。(手161)

PTAは任意団体なので、強制的に加入を促したり、学校納入金としてPTA費用を抱き合わせで集めるようなことはやめてほしい。(手178)

私立中学と公立中学で公費負担額に差があるのはなぜか。(手181)

子どもがこれまで、まなびの教室に通っていたが、学校からWISC検査を受けなければならぬと言われ受けたところ、今後、まなびの教室には通えないという判定が出た。今まで通りまなびの教室に通う方法はないか、どうにか対応してほしい。(手185)

小・中・高等学校の授業や部活動において、日本スポーツ協会の「熱中症予防ガイドブック」が順守されるよう、区として啓発・把握を行い、熱中症による被害を防ぐこと。(陳3)

学習アプリの使用を強制しないでほしい。(陳7)

児童の多様化に対応し、学力を保障するため、学校支援指導員や講師の配置を継続・拡充すること。(陳7)

公立学校の制服化を希望。私服を用意する必要がないので、経済的に非常に助かる。(住)

子どもの教育に力を入れてほしい。(住)

PTA、町会の古い時代のままの運営。特にPTAの現状は違法なことが多く行なわれており、問題と感じる。古くからの住人が実権を握り、改革しない。(住)

介護福祉の充実が叫ばれているが、教育の充実を要望する。より質の高い国家を創ることが幸せな国造りとなる、それは教育だ。右へ習への教育でなく、墨田区を斬新な教育特区に。(住)保育園、小中学校、児童館等、子どもの福祉や教育に関わる人の待遇をよくし、良い人材が集まるようにしてほしい。助成金だけでなく本質に迫り、自由度の高い教育を行ってほしい。(住)本所地域と向島地域の格差が大きいと感じる。向島地域は、防災問題もさることながら、地域による学校の教育内容やレベル格差、同じ公立でもレベルの高低差などあると感じる。住民の格差にならないような対策をお願いしたい。(住)

子どもが業平小学校に通っているが、校庭で体育の授業をしていると、観光客が写真を撮るそうだ。フェンスに目隠しになるようなものを貼れたりしないものか。(住)

小・中学校の給食費無償化を継続してもらいたい。(注、同様の意見2件)

区立幼稚園の園児数の減少に伴ってか、閉園する園や新入園を募集しない園もあり、縮小傾向にあると思われる。区立園では要支援児の受け入れをどの園でも行っており、今後、就学前の要支援児の受け皿が少なくなってしまうのではと懸念している。保護者が困ることのないよう、就学前の大事な時に様々な経験が出来るよう、何らかの環境を整えてほしいと願っている。(住)

区民と区が協働で「すみだ」をつくる

10 スポーツ振興・生涯学習

以前、両国屋内プールで開催されていた高齢者向け水泳教室が、最近は開催されていないが、区民税等の負担も大きいため、こういった教室を再開して区民へ還元してほしい。(手18)

熱中症対策のため、猛暑で危険な日は野外の運動施設の利用制限を設けてほしい。(手27)
区内の広場(墨田フィールド等)で夏休み期間に、ウォーターフェスをやってほしい。(手55)
高速道路高架下に無料で使えるテニスコートがあるが、鳩が多く衛生面が気になるので、ボールが外に転がっていかないよう、コートの周りにフェンスを設置してほしい。(手99)
総合体育館でスポーツイベントを行っている時、駐輪場ではない場所に停めてある自転車を撤去される事態になった。駐輪場に停められない場合は、近くの商業施設の駐輪場に停めてくれと言われた。区施設で区の推進するスポーツやイベントに参加するのに、近くの商業施設を借りて停めてというのも区の方針なのか。(手110)
区内の区民団体が使用できる体育館が昔と比べ減っており、いずれなくなってしまうのではと感じている。(手191)
健康寿命日本一を目指す墨田区としては、スポーツ施設の充実は欠かせないものだが、学校体育館の開放をはじめとした、気軽に使えるスポーツ施設を考えてほしい。(陳6)
資格が取れる講習等を充実させてほしい。(住)
両国屋内プールにて、子ども達の元気なあいさつをうるさいと言うのは教育的によくないと思う。(住)
プールを墨田区民は100円割引などにしてもらいたい。(住)
曳舟駅の近くに区民プールがあれば、便利だと思う。(住)
テニスコートの予約方法がよくわからない。ネットでできるようにしてもらいたい。(住)
文花にあったテニスコートがなくなった。新しいコートを作つてから閉めた方がよかつたのではないか。利用する側の立場からきちんと考えてほしい。(住)
テニスコートがなかなか取れなくて困っている。そして、HPも見にくい。(住)
区営のテニスコートが、江東区や江戸川区に比べると取りづらい。もっと平等に取れるようにしてほしい。(住)
墨田体育館、梅若体育館の使用料を安くしてほしい。(住)
年齢、障害関係なく、気軽に参加できるイベント、学習の場がほしい。(住)
伝統の物が習える教室等があったら参加してみたい。(住)
日中に日本語の授業があったら素晴らしいと思う。他の地区でも無料の日本語クラスを提供していると聞いたことがある。(住)
第二武道場を建設して欲しい。災害時には避難所としても使え、区民の社交場にも使える。(住)
すみだシティハーフマラソンの開催(スタート・ゴールは錦糸公園)。(住)
区民スポーツ大会に興味を持ち、情報を集めたが、HPの仕様が古い上に情報が薄く、動画等も配信されていないのでレベル感や雰囲気すら分からない。運営元が区の直轄かは把握していないが、実施するなら参加者が増えるようにすべきだ。今回はテニスがそうだったが、他の競技についても区民大会として行うのであれば情報の質や量、更新度合いなどを高めるべき。(住)

11 区政推進

(1) 広報広聴

区役所は、苦情等について、文書での受付が主で、動画・画像などの情報を取り扱ってくれな

い。是非、改善してほしい。(手21)

「区長への手紙」について区から回答を求めるにあたり、個人情報を提供する意味がわからない。個人情報が流出すれば報復のリスクもあるため、番号などで管理すべきだ。(手85)

区の広報広聴活動について、渋谷区の取組を参考に改善してほしい。また、被災時の備えとして、ラジオ局開設を検討してもらいたい。(手182)

区公式チャンネル(YouTube)や区政情報番組「ウィークリーすみだ」に小窓表示で手話通訳を付けるか、最低でも字幕表示を付ける。区が行う講演会やイベントに手話通訳を配置するなど、聴覚障害者が参加しやすい環境づくりをお願いしたい。(陳14)

4月に引っ越してきたばかりで、区のお知らせをまだ一度しか読んだことがないので、登録してスマホで読むことにしようと思った。(住)

区政情報に興味・関心はあるものの、能動的に得ようとしない限り、知ることが難しいと感じる。自分から得る態度が重要とは承知しているが、受動的にでも区民が情報を得られるようにしてほしい。ただ住んで暮らしているだけでも区の取組が自然と耳や目に入るような形が望ましく、また広く区に関心を寄せてもらうことに繋がるとも思うので、検討してほしい。(住)

今回のような住民意識調査は労力が大変なので行なわないよう願う。(住)

住民意識調査について、もう少し簡潔にできれば回答率も上がるのではないか。(住)

以前居住していた区市町村でも住民意識調査の対象になり回答した。その時は粗品が同封されており、気遣いを嬉しく思った。(住)

自分のような年寄りには住民意識調査の設問が多すぎて理解できなかった。(住)

「ウィークリーすみだ」は必ず見ている。歴史等をもっと詳しく付け加えてもらいたい。(住)

HPが検索しにくい。もっとわかりやすく使いやすくしてほしい。(住)

区が行っている事業や施策が普通に生活していると伝わってこないので知らない。わざわざHPを開いてまで調べないので、チラシ等が伝わりやすいと思う。(住)

墨田区に引っ越してきて約1年、とても生活しやすい一方で、区がどのような事業や施策をしているのか知らない。SNS、特にInstagramで具体的な事業や施策の発信を希望する。(住)

Xの記事を毎日利用している。今後も期待している。(住)

新情報の発信方法もたくさんあると入手しやすい。(住)

生活に役立つ情報を多く知らせてほしい。(住)

新聞を取っていないので、区の情報が伝わってこない。(住)

自分で興味を持って情報を取りに行かないと、区内で何があるのか全くわからない。(住)

自分の住んでいる地域に関して目を向ける機会が、免許更新と住民票などで区役所に行く時くらいなので、そのような機会にもっと情報が入るようにしてほしい。(住)

事業や施策の取組や進捗、結果などをもっとアピールしてほしい。(住)

墨田区に引っ越して2年、交通の便はよく買い物には困らない住みやすい街だと思う。しかし、墨田区といえば相撲とスカイツリーのイメージしかなく、街や行政の取組については知らないことが多い。人の集まる身近な場所(駅や商業施設など)で情報を発信してほしい。(住)

墨田区に転入してまだ1年未満ということもあるが、区の事業内容や施設、サービスについて知らないことが多い。子育てや介護をしていない者でも、利用できるものなどがあるのであれば、情報発信をしてもらうとありがたい。(住)

(2) 行財政改革

適正な賃金・労働条件が損なわれる可能性のある安易な外部委託、指定管理者制度の運用は行わないでほしい。(陳 5)

公共サービスの向上ならびに安全性確保のため、正規雇用職員の採用を拡大すること。また、業務委託化推進政策を見直し、業務の区直轄への転換を図ること。(陳 7)

無駄のない財政を(住)

墨田区は地域・観光・産業等で非常にバランスの取れている区の1つだと思う。他の福祉や環境などを含め更に調和した区行政を進めてほしい。(住)

税金を大切に使ってほしい。(住)

区の事業や施策は極力少なくすべき。やることは民間になるべくまかせる。どうしても民間ができないことに注力すべき。(住)

収益化も意識して、しっかりお金取るところは取るべき。(住)

(3) 人権同和・男女共同参画

選択的夫婦別姓制度の導入 パートナーシップ制度適応範囲の拡大(住)

1.2 身近な区民サービス

住まいの住所の表記に困っている。同じ住所、番地に2軒建物があり、隣の郵便物等が配達されることがある。住所に附番をつけるなどして隣の家との住所表記を分けてほしい。(手 9 1) 国民健康保険高額療養費支給申請書について、未だに世帯主からの申請、世帯主の口座への振込に限定されていることは違和感がある。手続き方法を改善してほしい。(手 9 5)

マイナンバーの予約制について廃止した方がいい。予約制のままなら、来なかつた者へのペナルティを強化した方がいい。また、混雑時間がわかっているなら、マイナンバーの機械の台数を増やす、人を増やすなど対策をしてほしい。(手 1 9 5)

住民が暑さをしのぐ一時避難場所を設置し、公表及び周知すること。さらに、他区の事例を参考にしながら一時避難場所として民間施設も利用できるよう協力体制を構築すること。(陳 3) マイナンバーカードを取得しないことによって、住民サービスや行政利用に際し、不便・不利益が生じないようにしてほしい。(陳 5)

マイナンバーカード機能のアイフォンへの搭載が確認されているが、職員の人員削減や窓口縮小につなげないでほしい。(陳 5)

年金支給日は隔月ではなく、国際基準である毎月支給にしてほしい。(陳 6)

区が発送する窓付き封筒は窓の部分に紙を使用しており、ビニールと比べて鮮明度が劣るため見えづらい、宛名を大きくする、太い文字を使用するなど改善してほしい。(陳 7)

国民健康保険証や後期高齢者医療保険者証を郵送する場合、配達員、住民の負担軽減、経費削減のため簡易書留郵便から特定記録郵便に切り替えること。(陳 7)

区内公共機関や病院等の窓口サービスについて、都庁で既に導入されるスマートフォンからQRコードを読み込めば手話通訳サービスを受けられる方法へ改善してほしい。(陳 1 4)

マイナンバーカード作成について、郵送などの対応をしてほしい。(住)

区役所の受付をオンラインで済むように、また簡潔にしてほしい。(住、同様の意見1件)
もっとデジタル化施策を推し進めてほしい。(住)
何でもデジタル化をしないでほしい。高齢者はパソコン、スマートフォンでの予約をする事が得意ではない人も多いので、色々な事の予約に戻込みをしてしまう。(住)
区役所の開庁時間を、平日は全て19時までにしてほしい。(住)
転入の際、ひきふね図書館で住民票の受取ができ便利だった。そのような取組を拡大してほしい。平日手続きに行けないので、独身や共働きでも利用しやすくしてほしい。(住)
行政サービスは子育て世帯や高齢者に手厚く、独身者や働く世代はおざなりになっているよう感じる。(住)

その他

13 職員の接遇等

税務課職員の対応に傷ついている。(手6)
横川コミュニティ会館の図書室にいる職員の対応が素晴らしく、感動した。(手7)
墨田区巡回バスの運転手が、乗り降りする乗客全員に「おはようございます」などあいさつをしていたのが非常によかった。今後も続けてほしい。(手8)
建築指導課の職員が区民に寄り添った対応ではなかったので、改善してほしい。また、書類のやり取りもメールではなくFAXと言われた。電子化を進めるべきではないか。(手9)
税務課職員の親切な対応に感動した。(手16)
落とし物をした際に問合せをしたが、職員の対応が素晴らしく、心を動かされた。(手17)
緑図書館職員に不快な対応をされた。今後この様な対応がないよう指導してほしい。(手20)
体育館の職員が終始半笑いで、融通の利かない対応だったため不愉快な思いをした。(手40)
家族が立花ゆうゆう館で職員にスマホの操作を教えて貰い、またいつでも気軽に来て聞いてくださいねと言われ、非常に喜んでいた。墨田区の指導が良いと実感している。(手68)
本所保健センターでの担当職員が変わってしまったが、以前の担当に戻してほしい。また、なぜ急に担当が変わったのか、納得のいく説明がほしい。(手72)
清掃事務所にリサイクルの持ち去りについて説明したが、対応した職員が区の条例を理解していないようだった。職員が区条例を理解していないのは問題ではないか。(手74)
価格高騰重点支援給付金担当者の電話対応が高圧的だった。区民対応についてもう少し考えてほしい。(手75)
緑出張所に、日本人ではないと分かると急に態度が変わる職員がいる。(手77)
土木管理課の職員が、話を聞いていないような適当な相槌をうち、名前を尋ねても絶対に名乗らなかった。(手81)
障害者福祉課職員の対応で、精神的につらい思いをさせられた。(手89)
区職員に自分の子を発達障害と決めつけられた。専門家も検査前は可能性の話しかしないため、決めつけるような発言はやめてほしい。(手97)
生活福祉課職員に事実を曲解され、誤った対応をされた。(手105)

職員課に障害者雇用の願書を貰いに行った際の対応で、江戸川区に比べると墨田区は、精神障害者に対する見識がかなり遅れているように見受けられた。(手118)

安全支援課職員に明瞭、かつ丁寧に対応してもらい、大変感謝している。(手129)

国民健康保険の軽減措置の対応について、たらいまわしにされた。(手148)

国民健康保険窓口の職員の対応がひどい。極めて不快な対応だった。(手150)

区役所2階からエレベーターに乗ったら、喫煙所から出てきた職員と一緒にになり、とてもタバコ臭く不快だった。(手158)

東向島出張所でマイナンバーカードの手続きをした際、担当職員が他の職員や区役所に問合せ、マニュアルを確認しながら行い大変時間がかかった。ミスも多発し、一度全てが完了したと伝えられ帰宅した後、ミスがあり記入不足が判明したとのことで呼び出された。(手160)

道路に関することで区役所に電話し、担当部署へ手短に伝えるだけのつもりだったが、交換手に根掘り葉掘り質問され、担当部署にも繋がれずに終わってしまった。(手163)

税務課に電話した際の職員の対応が悪かった。(手167)

健康推進課に電話で問い合わせをした際、対応が良くなかった。保留して時間がかかるようなら、電話番号を聞いてかけ直すのが一般的な対応ではないのか。改善してほしい。(手189)

電話だけでなく、電子メールでの対応を含め、事務の合理化を図るべき。またキャビネットのファイルを探すのに時間を要しているので、文書のペーパーレス化をしてほしい。(手193)

税金の担当者が全く区民の話を聞かない。相談に乗ってくれない。(住)

転入のとき、区の職員の対応がとても親切で、スムーズですごいと思った。(住)

いつも親切な墨田区役所のみなさんに感謝している。(住)

お会いする職員（特に窓口の人や保健師）に素敵な人が多く、とてもありがたい。(住)

区役所の9割以上のは、とても親身で、丁寧、区の自慢になると思う。(住)

区職員のヒアリング能力の高さ、聞き取りをもとに最適解を適示し予想されるトラブルやデメリットまでも丁寧に説明してくれる姿には本当に頭が下がる。一方で、マイナンバー暗証番号を立てかけたタブレットに入力させる（後ろで待つ区民に見える状態）住所を他の人に聞こえる声で全て言ってしまうなど、危ないと思う点もある。(住)

区役所や保健所の人に質問しても、よくわかっていないのか、速答でない事が多い。もっと自身の業務について理解を深めるべき。職員同士の連携もうまくいっていないように感じる。(住)

区役所の窓口のスタッフが少ないのか、待っている人が多すぎて毎回時間を取られてしまうので、もう少し多人数で窓口を開けてほしい。(住)

保育園申請の窓口職員の対応が冷たすぎた。忙しいのは分かるが、引っ越ししてきたばかりの母子家庭の身にはとてもつらく、引っ越ししたことを後悔した。(住)

区役所などで対応がやや不親切と感じる事がある。区役所で働いている人が多いと感じる。(住)

14 区民施設

錦糸町駅北口に図書館本返却ポストが設置され、大変嬉しい。(手5)

東向島出張所で、平日比較的空いたが、それでも5,6人の方が立って待っていたので、椅子を増やしてほしい。(手41)

新保健センターのオフィスシェアの単価が、庁舎の者や他自治体と比較して高すぎる。税金の無駄遣いを感じる。(手63)

墨田区南部は図書館が少なく、緑図書館は駅からも離れていて利用しにくい。せめて予約本を利用者の多い駅で受け取ることができるようになれば、利便性が飛躍的に向上すると思う。予約図書自動受取機や予約図書受取ロッカーの導入を検討してほしい。(手67)

電子図書の予約でも現物の書籍と同じように、予約の順番が回ってきた時にメールや電話で連絡が来るようにしてほしい。(手79)

保健子育て総合センター内の教育センターは、HPに詳細の記載がなく、「長期間欠席しているお子さんの居場所づくりや学習支援の場」の内容がわかりかねる。(手127)

図書館に本を寄贈したところ、できれば発売後10年以内の本をと言われた。今回の寄贈本は10年以上経っているが、古本サイト等では2万円以上で売買されているものもあり、状態も大変きれいで。発売後の年数だけで本の価値を決めるのは不見識ではないか。(手166)

横川コミュニティ会館の図書室を充実させてほしい(住)

図書館の自習スペースを増やしてほしい。(住)

図書館を頻繁に利用しているが、利用しやすく、大変ありがたく思っている。書籍の予約がしやすく、引き続き図書館を充実した施設にしてもらえればと思う。(住)

さまざまな分野の本が偏ることなく数多く蔵書されており、他区の図書館からも借りることができる。また立花図書館は対応がよく、気持ちよく利用でき、とても満足している。(住)

図書館をよく利用するので本の充実度を今まで以上にあげて欲しい。(住)

日曜・祝日も図書館を20時まで開館してほしい。

ひきふね図書館のブックポストを京成曳舟駅に設置してほしい。(住)

図書館のCD、DVDを充実してほしい。(住)

Wi-Fiを使える図書館を増やしてほしい。(住)

図書館の休みは全て同じ(第3木)ではなく、ずらしてほしい。(住)

クールシェア、ウォームシェアにもなるので、図書館の開館時間を長くしてほしい。(住)

図書館の勉強できる机を増やしてほしい。(住)

勉強できる机を、図書館に限らず区役所や他の施設にも作ってほしい。(住)

図書館のインターネットは、動画や音声も使えるようにしてほしい。今時、動画・音声のないインターネットは利用価値が少ない。墨田区の情報すら見ることができない。見られるようにする際は、墨田の情報だけ、行政情報だけということはやめてほしい。(住)

他区には「学校の校規ですか?」と言いたくなるようなひどいものがあるので、墨田区の図書館には、細かすぎる、厳しすぎるルールを作らないでほしい。(住)

静岡市では予約したら人気の図書館でも2週間以内、遅くとも1ヶ月以内には借りられたが、緑図書館で予約して順番が来たのが2年後だった。人が多いのかもしれないが、不便。(住)

人がいるのに自分で機械を操作し貸借りしないといけなくて不便。何のための人員なのか。(住)

区が関与する公共施設について、大幅赤字にならないように営業努力を求める。北斎美術館、トリフォニーホールについて、負担になるようであれば閉館を求める。(住)

人口減は避けないので、そのつもりで箱ものを作ってほしい。多機能または区・都・国の建物が近隣にあるなら、1つに集約する等無駄を最大限減らしてほしい。(住)

単に施設・場所を増やせばよいのではなく、利用者が本当に必要としている内容まで考え、区政を遂行してほしい（例：待機児童対策、子供の居場所の確保）（住）
施設を作るのが下手と感じる。使い勝手が悪い。（住）
近所にピッグシップという施設があり、とてもお世話になっている。（住）
区役所はすぐ隣が台東区、新しい保健所は隣が江東区など区施設の場所が偏っている。区民の利便性より、区の都合が一番という感じがする。保健所に関して新しく1つにまとめ区はよいだろうが、利用者にはとっても交通の便も悪く、何を考えてそうしたのか知りたい。（住）
区民が利用できる施設が向島地区に集中しており、利用したいと思う催しは、ほぼ向島方面なので参加しづらい。（住）
Wi-Fiのある、仕事ができる無料カフェを作ってほしい。（住）
高齢者の楽しみの場をなくし、児童館にした。もう少し憩いの場を作ってほしい。（住）
墨堤通りに作っていた施設を予算オーバーで中止にするなど、1番もったいないお金の使い方をしている。（住）
保健センターが少ない。図書館のように、ネットで施設の利用ができるようにしてほしい。（住）
妊娠時の面談や乳児健診などで、エレベーターもベビーカー置き場もない保健センターに行かなければならぬのが苦痛。非常に不便に感じる。建物自体も古く不衛生に感じて不快。（住）
ハローワークや区役所はよい感じで場所も行きやすいが、北の方は行き方がわかりにくい。本所と向島の保健センターが10月から移転すると聞いたが、行きやすいのか不安。（住）
保健センターは、親切な職員が多いが、施設も古く、利用時間も午前だけなど使いにくい。（住）
バイクは、狭くてごちゃごちゃしている墨田区にはとても合っているので、バイクの駐車場を増やしてほしい。区の施設でバイクの駐輪場がないのはひどいと思う。（住）
消毒用のアルコールをコロナ禍の時のように充実させてほしい。（住）

15 その他

区のHPに「限定枚数に達したため、交付を終了」とされているオリジナルナンバープレートについて、再交付をしてほしい。（手48）
町会回覧板を、紙の回覧板と併用でLINEのオープンチャットを活用した電子回覧板も活用してはどうか。発信者の知識が追いつかない場合、区が音頭を取って進めてほしい。（手12）
自衛隊への名簿提供について、区報に小さく記載されていたが、これだけではきちんと周知されているとは言えないの、徹底してほしい。（手71）
町会への補助金は、その町会で無駄遣いがないか精査した上で行ってほしい。（手76）
昨今の川口市のニュースがきっかけで、移民を受け入れすぎることへの不安が大きくなつた。移民・難民の受け入れについては、慎重に判断をして欲しい。（手93）
国内外に知られる観光資源があり、多くの観光客が訪れる墨田区の魅力や地域アイデンティティを高めるため、独自のナンバープレートを導入してはどうか。（手124）
自動車のナンバープレートに、「墨田」ナンバーの導入を検討してほしい。（手173）
近年、地域振興や観光振興等の観点からご当地ナンバーが増加しているが、墨田区も台東区など近隣の区と協力して、ご当地ナンバーを推進してほしい。（手177、180）

審査請求の審理員及び行政不服審査会委員に特定行政書士の活用を検討してほしい。(陳1)
犯罪被害者等に対する経済的・日常生活・居住棟の支援を体系的に行うため、犯罪被害者等支援条例の制定をし、行政書士を活用してほしい。(陳1)
墨田区在住在勤の外国人のための「くらし・事業の相談窓口(仮称)」を開設し、窓口相談員として行政書士を活用してほしい。(陳1)
投票率向上のため、期日前投票、移動期日前投票所、共通投票所の設置を推進すること。その際、有権者の利便性を高めるため、総合スーパー・百貨店等の大型商業施設内、駅舎内等への設置を増やすこと。(陳3)
終戦記念日の正午から戦没者を追悼し平和を祈念するため、黙とうを防災無線を活用するなどして区民に呼び掛けてほしい。(陳8)
小規模住宅用地に対する都市計画税を2分の1とする軽減措置を、令和7年度以後も継続するよう、都に意見書を提出すること。(陳15)
小規模非住宅用地に対する固定資産税及び都市計画税を2割減額する減免措置を、令和7年度以後も継続するよう、世に意見書を提出すること。(陳15)
商業地等における固定資産税及び都市計画税について負担水準の上限を65%に引き下げる減額措置を、令和7年度以後も継続するよう、都に意見書を提出すること。(陳15)
区議から区政情報を受け、感謝している。(住)
区議の2割削減。(住)
区議会など何をして、何を決め、何をしようとしているのかまったく個人には伝わらない。(住)
区議会議員は、もっと区民の声を聴き、税金・歳費に見合う仕事・活動をしてほしい。目安箱、苦情の声を拾います運動、議員の怠慢・不正・脱税監視の投書箱設置を求む。(住)
町会事業の重要さを区行政は認識し、互いにコミュニケーションを取り合うように各町会に出向き、地域の現状を実感してほしい。(住)
町会、子ども会が活性化するよう、助成、助言して盛り上げられるように出来たら嬉しい。(住)
高齢者や独身向けのマンションが増える事により、商店が減り、町会の会員に若い人が少なくなり活動が出来ずにいる。(住)
町会は、会費を何に使っているか不透明なので、全て明らかにすべき。(住)
下町ダサいと言わせない。下町の心意気をうまく伝えてもらいたい。(住)
地域の活動に積極的に参加したいが、その情報、窓口が身近にない(区役所などに行けば、情報入手ができると思う)ので、情報周知が大事だと思う。(住)
今まで様々な自治体のお世話になってきたが、墨田区が一番ストレスなく、安心して住むことができている。暮らしを守ってもらい、感謝している。(住)
道徳心・倫理感・自律力を礎に、区民のための地域行政に邁進されるよう期待している。(住)
気持ちよく快適に暮らせるように色々仕事をしてもらい感謝している。(住)
地域活動に対してもっと支援してほしい。お金よりも場所の提供や、学校と地域社会の交流にリーダーシップを取ってほしい。(住)
子どももいないので学校コミュニティもなく、税金を払っても自分が使うことはほとんどなく損をしている気分だ。(住)
墨田区が好きで、愛着をもって住んでいるので、より良い町になればと思う。自分個人ででき

ることも考えながら、生活しようと改めて思えた。(住)

コロナ禍に越して来た。墨田の人々は親切でやさしく、色々な面で助けてもらい、多くの人のお世話になったため、墨田区で働きたいと思っている。そう思っている人は多いと思う。(住)昔に比べて便利になり、街も綺麗になっているが、新しく越して来る人も多く、昔のような横のつながりはなくなり、偏屈になった高齢者も目立つ。一部の人だけが知っていて利用している事も多いと思うので、もっと周知力を上げ、皆が楽しく生活できるようにしてほしい。(住)コロナ禍の対応がどこの区に比べてもすばらしかったし、安心して乗りこえることができた。仕事の関係であと1年半しか住めないが、いつかまた墨田で生活することを夢みている。(住)区を活性化するためにこんな活動をしています！とアピールするのではなく、もっと地域に溶け込んだ形で、実は区で行っていた活動だったのかとした方が、興味を持ちやすいと思う。(住)子育て世帯なので、保育園や学童と、数年で悩みや問題が流動的になっていると感じる。その状況を考えながら行政は予算を組み、施策を考えると大変だと思うが、行政に係わっている人々が無理なく、安心して働く環境が整うとよいと思う。(住)

墨田区に大学を作つて若者が集まる活気を取組をしてほしい。但し健全な。(住)

条例作りや区独自の大学を「ものづくりのまち」だからこそ、やるべき。千葉大や早稲田大との連携は大学を作つてからのこと。両国高や墨田川高と安田や日大一が備わっているのに大学進学と同時に区外に出てしまう。産業と医療と介護などと講師が連携し、墨田区在住で、区内で従事する人にやってもらえば、そのまま区内に就職もできる。防災団地の空室や空き家、廃校をルームシェアや起業にも大学寮にも使う。そうすれば墨田区で生まれ墨田区で一生を送ることができ、次世代へと墨田区で人生のサイクルが出来る。外部から招き入れなくても、区内に素地は出来ているので、法整備を進めれば、墨田区はなんでも出来るし、何でも作れる。(住)区民に優しいまちづくりをお願いしたい。(住)

60年前は家や建物がひしめき、生活や工場・商店の音が入り交じる賑やかだった記憶がある。今は活気を感じないおとなしい町のような気がする。ほとんどの人が地域密着でない仕事のためかと考える。変遷し続ける社会生活に対して、行政は地域の住民同士が緩やかにつながり続けられる様な仕組や、自助を最大限に引き出せる啓発や支援を行えないか。(住)

目に見えて何をして成果をあげているかが見えている感じがしない。政治家の数や何をしているか、一般人には特に見えて来ない。(住)

親子参加型のスポーツイベントや教育関連の外国人交流、生活する上でのお得情報などのPR活動を強化してほしい。墨田区に住んでいるメリットをもっと把握したい。(住)

墨田区に住んで20年程、利便性もよくとても住みやすいが、地域活動も年配の人に命令され、やらされているようにしか感じられなかった。(住)

外国人も多く住む区で対応も大変だと思うが、日本人も含めルールをしっかりと伝え、住みやすい墨田区にしてほしい。まずは環境美化でキレイな墨田区を。地域のケア(掃除、ゴミ拾い)について、地域みんなでやるイベントを今年も実施してほしい。(住)

外国人が増加しているが、保険料や住民税をきちんと徴収しているのか。滞納率を調査してホームページで公表してほしい。(住)

様々な値段が上がっていて生活が大変なので、生活の為補助金を増やしてほしい。(住)

東武鉄道など特定の事業者を優遇しないようにしてほしい。慣れ合っているように感じる。(住)

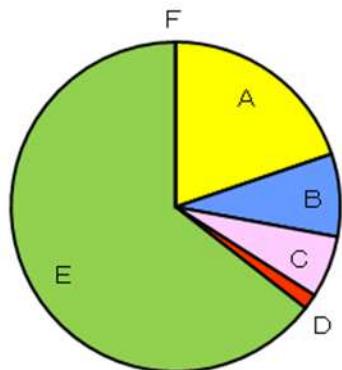
[資料編]

1 区民の声の傾向

(1) 広聴活動別件数

区民の声（広聴カードA）として集約した意見等は、全部で197件である。

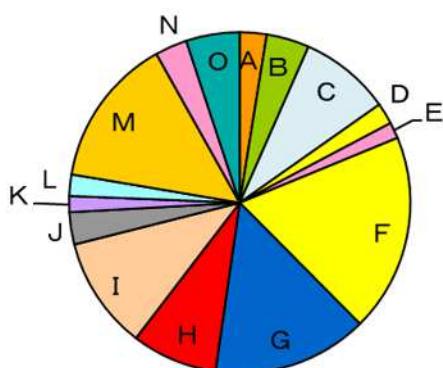
インターネットが区民に身近な手段として定着していることから、ホームページからのご意見・ご要望が127通で、全体の64.5%となっている。



		件数	割合
A	広聴電話	39	19.8%
B	区長への手紙	16	8.1%
C	来訪	12	6.1%
D	メール	3	1.5%
E	ホームページ	127	64.5%
F	その他	0	0.0%
合計		197	100%

(2) ご意見（広聴カードA）の内容の大分類別件数

区民の声のご意見の内容の大分類別件数を多い順に見ると、福祉（37件）、保健衛生（29件）、職員の接遇等（28件）、教育（21件）となっている。



		件数	割合
A	文化観光	5	2.5%
B	まちづくり	8	4.1%
C	土木	17	8.6%
D	産業経済	4	2.0%
E	危機管理	3	1.5%
F	福祉	37	18.8%
G	保健衛生	29	14.7%
H	環境	16	8.1%
I	教育	21	10.7%
J	スポーツ振興・生涯学習	6	3.0%
K	区政推進	3	1.5%
L	身近な区民サービス	4	2.0%
M	職員の接遇等	28	14.2%
N	区民施設	6	3.0%
O	その他	10	5.1%
合計		197	100%

2 広聴活動の概要

(1) 区長への手紙

区民から、日常生活の中での身近な問題や区政に対する意見・提案などが、手紙や電話をはじめ様々な手段で区長宛てに寄せられる。これらを広報広聴担当の事務処理上、「区長への手紙」と総称している。「区長への手紙」は広報広聴担当で受け、区長まで供覧するとともに、所管課に配付のもと、所管課は迅速に対応し、その結果を通報者に回答している(「広聴カードA」による処理)。

また、各所管課が直接受けた区民の意見・提案等のうち、区政に反映すべきと判断されるものについては、広報広聴担当を通じて区長に報告している(「広聴カードB」による処理)。

広聴カードで対応した意見・提案の中で特に重要な項目については、部長会や広報広聴連絡総合調整課長会議等で報告するほか、広く区民に周知したほうがよいと思われる意見・提案については「墨田区のお知らせ」の「みんなのこえ」欄やホームページで紹介している。

令和6年度は、「広聴カードA」により対応したものが197件、「広聴カードB」により所管課から報告があったものが3件あった。

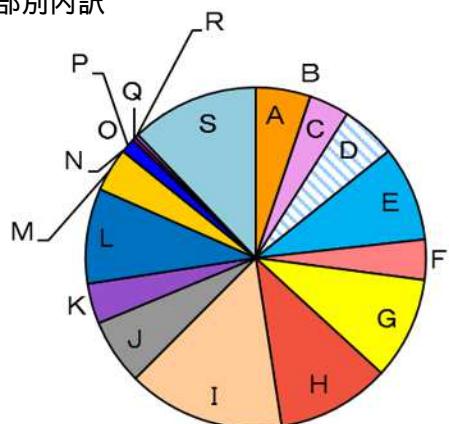
なお、「広聴はがき」は、主な区立施設の広報スタンドに備えてある。

5年間の推移(広聴カードA・広聴カードB)

	6年度	5年度	4年度	3年度	2年度
件数	200	83	76	101	138

令和6年度集計表

所管部別内訳



1件に対して複数所管が対応の場合を含む。

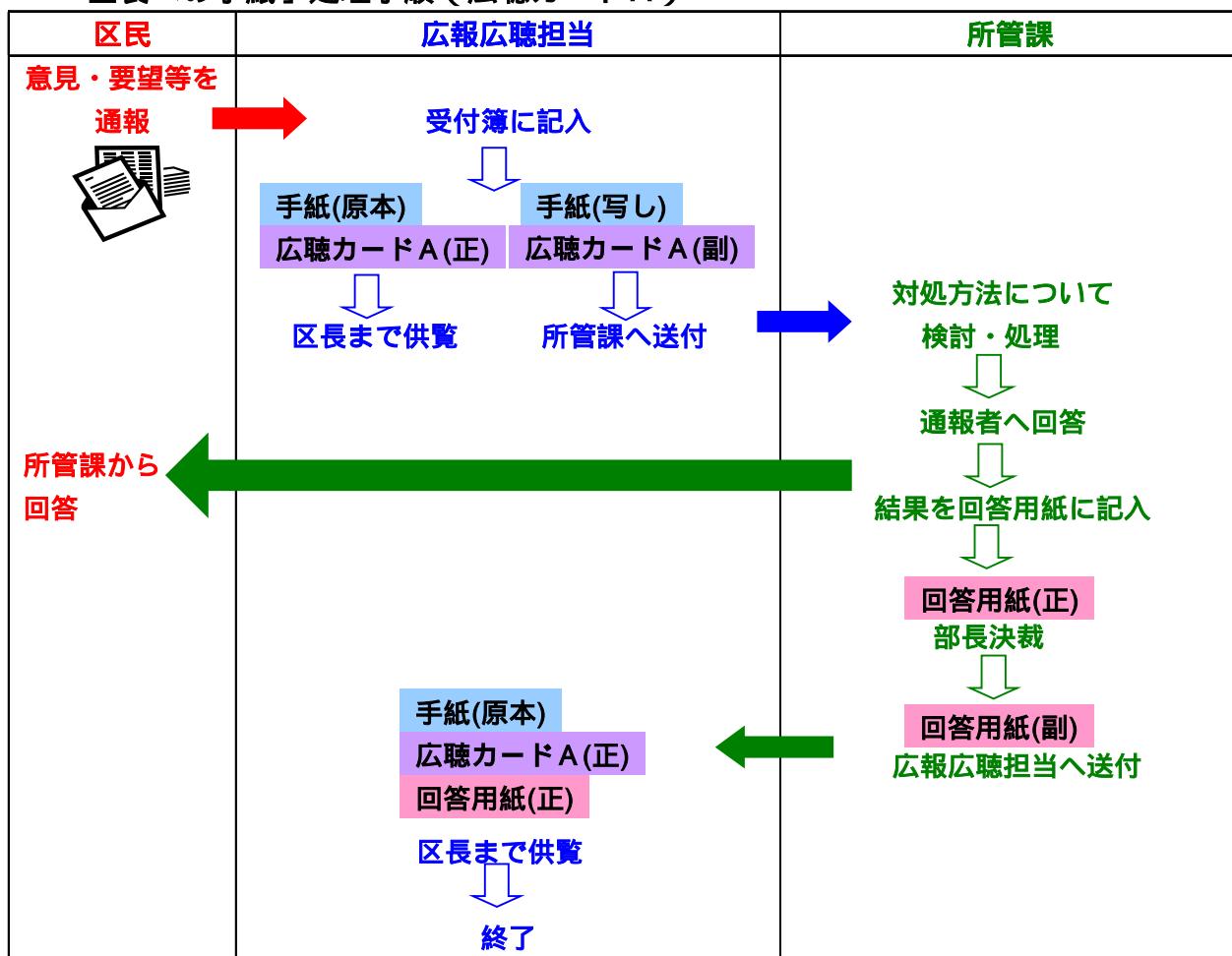
所管部名は、令和7年3月31日現在の表記

広聴カード処理手順

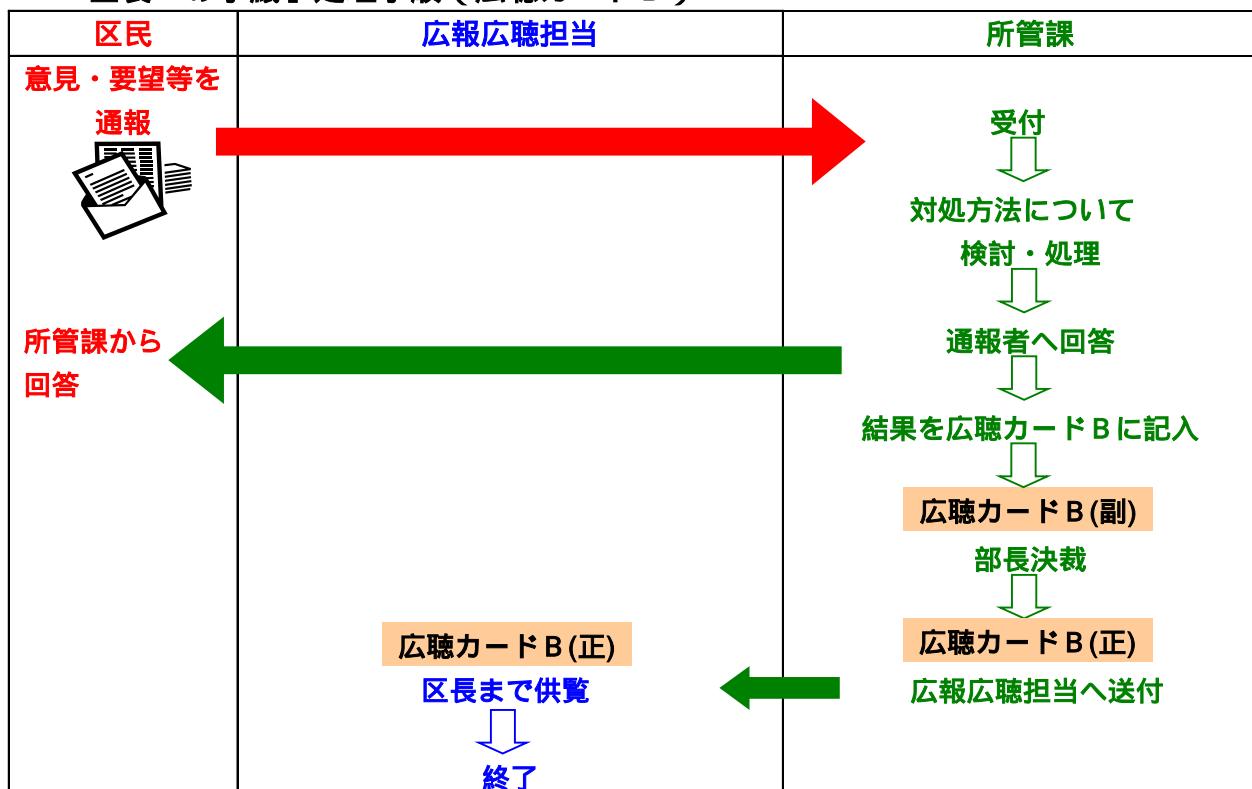
別紙のとおり

	所管部	件数	割合
A	企画経営室	15	5.2%
B	ファシリティマネジメント担当	0	0.0%
C	総務部	11	3.8%
D	区民部	15	5.2%
E	地域力支援部	26	9.0%
F	産業観光部	11	3.8%
G	福祉保健部	28	9.7%
H	子ども・子育て支援部	31	10.8%
I	保健衛生担当	43	15.0%
J	都市計画部	18	6.3%
K	危機管理担当	11	3.8%
L	都市整備部	26	9.0%
M	資源環境部	12	4.2%
N	立体化・まちづくり担当	0	0.0%
O	会計管理室	0	0.0%
P	区議会事務局	4	1.4%
Q	選挙管理委員会事務局	1	0.3%
R	監査委員会事務局	1	0.3%
S	教育委員会事務局	35	12.2%
	合計	288	100.0%

「区長への手紙」処理手順（広聴カードA）



「区長への手紙」処理手順（広聴カードB）



(2) 請願・陳情

区長宛てに提出され、各課で收受した請願・陳情等は広報広聴担当を経由した後、区長まで供覧するとともに、広報広聴担当では、件名ごとに調書を備え、対応の経過を明らかにしている。

令和6年度に各団体及び個人から提出された請願・陳情等は次のとおりで、総件数は19件である。

受理所管別請願・陳情等実績

所 管 部	件数	所 管 課 別 内 訳
企画経営室	8	秘書担当(1) 広報広聴担当(7)
ファシリティマネジメント担当	0	
総務部	0	
区民部	1	税務課(1)
地域力支援部	0	
産業観光部	1	産業振興課(1)
福祉保健部	1	障害者福祉課(1)
保健衛生担当	3	健康推進課(1) 生活衛生課(2)
子ども・子育て支援部	1	子育て政策課(1)
都市計画部	0	
危機管理担当	0	
都市整備部	2	土木管理課(1) 公園課(1)
環境担当	0	
立体化推進担当	1	立体化推進課(1)
会計管理室	0	
教育委員会事務局	0	
合 計	19	

所管部名は、令和7年3月31日現在の表記

(参考)

6 年度	5 年度	4 年度
19件	12件	18件

（3）中学生区議会

未来の墨田区を担う子どもたちに議会制度を実体験させることにより、郷土に対する愛着心、関心を深めてもらうとともに、区政への提案・意見等を聴取し区政の参考とするため、平成6年度から実施している。令和6年度は、「にぎわいと活力にあふれるまち すみだ」、「みんながいきいきと暮らせるまち すみだ」、「安全安心なまち すみだ」をテーマに、「第31回中学生区議会」を実施した。なお、名称は、平成12年度まで「子ども区議会」であったが、平成13年度から「中学生区議会」と改めた。

概要

日 時	令和6年12月19日（木）午後2時～4時30分
場 所	墨田区議会議事堂 本会議場及び委員会室（第一、第二、第三）
テ マ	「にぎわいと活力にあふれるまち すみだ」 「みんながいきいきと暮らせるまち すみだ」 「安全安心なまち すみだ」
中学生議員	区立10中学校の代表生徒20名
区側出席者	区長、副区長、教育長、各部長
区議会議員	議長、副議長、議会運営委員会委員

（4）住民意識調査

墨田区が行政を進める上で行政の各分野における区民の意向・要望等を把握し、今後の施策に反映させるための参考資料とするため、隔年で実施している。

令和6年度は実施年に当たるため、第28回墨田区住民意識調査を実施した。

概要

1 調査内容

定住性、生活環境評価、区政全般、シティプロモーション、地域力の育成・支援、防災対策、防犯対策、区政情報、生涯学習、ICT機器の利用、スポーツ・運動、環境・リサイクル・清掃、SDGs、地域、福祉、産業、観光、自由意見

2 調査設計

(1) 調査地域	墨田区全域
(2) 調査対象	墨田区在住の満18歳以上の個人（外国籍を含む）
(3) 標本数	3,000サンプル
(4) 抽出方法	層化無作為抽出法
(5) 調査時期	令和6年6月3日（月）～6月21日（金）
(6) 調査機関	株式会社タイム・エージェント
(7) 地域分類	調査結果の集計に当たっては、墨田区を8ブロックに区分した。

3 回収結果

(1) 標本数	3,000件（100.0%）
(2) 有効回収数（率）	1,166件（38.9%）
内訳	郵送回答数（率） 709件（60.8%）
	インターネット回答数（率） 457件（39.2%）
(3) 回収不能数（率）	1,834件（61.1%）

4 調査結果

調査結果は、区民へ広く情報提供するため、冊子にし、図書館などで閲覧できるようにしているほか、区公式ホームページに掲載している。

また、調査にご協力いただいた方に配布するため、調査結果「第28回墨田区住民意識調査概要版」を作成した。

(5) 区民相談

区民の日常生活における問題や悩みごとについて解決を図るために、区民相談室を設け、専門の相談員が相談に応じている。

相談事業一覧表

相 談	内 容	実施日	時 間	実施機関
区民相談	日常生活の一般的な相談	毎週 月～金曜日	午前 9 時～午後 5 時	広報広聴担当
法律・人権相談	金銭、借地・借家、離婚、相続、人権などに関すること	毎週 月・水・金	午前 10 時～11 時半 午後 1 時～4 時	広報広聴担当 人権同和・男女共同参画課
外国人相談 (中国語)	外国人の日常生活の悩みごと	毎週 水曜日	午前 10 時～正午	広報広聴担当
外国人相談 (英語)	外国人の日常生活の悩みごと	毎週 水曜日	午後 1 時～3 時	
行政相談	国や行政全般に対する苦情・要望に関すること	毎月 第 1 火曜日	午後 1 時～4 時	総務省東京行政評価事務所
更生保護相談	更生保護・非行などの悩みごと	毎月 第 4 火曜日	午前 10 時～午後 4 時	法務省 東京保護観察所
くらしと事業の手続相談	遺言・相続・ビザ・離婚、許認可申請などの書類作成、相談に関すること	毎週 火曜日	午後 1 時～4 時	東京都行政書士会 墨田支部
不動産一般相談	不動産取引一般に関すること	毎週 金曜日	午後 1 時～3 時	東京都宅地建物取引業協会第 3 ブロック
交通事故相談	交通事故のトラブルなどに関すること	毎週 月～金曜日	午前 9 時～午後 4 時	東京都交通安全協会
法律(登記等)相談	不動産や会社の登記、相続・遺言、成年後見に関すること	毎週 木曜日	午後 2 時～4 時	東京司法書士会 墨田・江東支部
税務相談	税金に関すること	毎月 第 2 ・ 4 木	午後 1 時～4 時	東京税理士会 本所支部・向島支部
年金・労務相談	各種年金、労務管理などに関すること	毎月 第 1 ・ 3 水	午後 1 時～4 時半	東京都社会保険労務士会墨田支部

実施日、時間は令和 6 年度の実施状況

事業内容及び実績

区民（身の上）相談

日常抱える問題や悩みごとについての相談に応じている。相談形態としては面接と電話がある。

（令和6年度実績）

（単位：件）

相 談 内 容								計
土地建物	相続	家族家庭	年金労務	金銭	税金	近隣環境	その他	
656	842	549	204	380	469	234	1,031	4,365

法律・人権相談

動産・不動産などの財産関係、金銭の貸借関係、親族関係など生活上の様々な法律問題について、弁護士が相談に応じている。

（実績）

（単位：件）

相 談 内 容	6 年度	5 年度	4 年度
土地・建物	56	81	67
借地・借家	159	126	135
金銭	106	83	79
サラ金・クレジット	17	20	15
相続	238	185	177
結婚・離婚	109	93	107
親子（養子・扶養）・家族	44	38	49
戸籍	0	5	1
労働	26	28	22
相隣	45	38	37
損害賠償	75	82	74
商事・会社	16	11	24
刑事	13	14	9
環境	0	1	3
人権	1	3	3
その他	66	64	67
合計	971	872	869

人権相談は、基本的人権を守り、自由人権思想の普及を図るため、法務大臣から委嘱された人権擁護委員が相談に応じている。なお、墨田区では、人権をめぐる問題については法律的な解決を求めることが多いことから、区の法律相談員を人権擁護委員として推薦している。

外国人相談

外国人を対象に、中国語（6年度実績 28件）・英語（6年度 実績7件）による相談に応じている。

その他の専門相談

(令和6年度実績)

行政相談	1件	更生保護相談	38件
くらしと事業の手続相談	308件	不動産一般相談	126件
交通事故相談	393件	法律(登記等)相談	304件
税務相談	111件	年金・労務相談	104件

(6) ホームページ

開かれた区政を実現するため、区政全般の情報を提供するとともに、区政に対する意見・提案・要望等ホームページを通じて収集している。意見等の取扱いについては、区長への手紙と同様にしている。

また、ホームページの各ページには所管課の問合せ先を掲載しており、直接問合せできるようになっている。